

J-MOTTO ホスティング（共用タイプ B）

ご利用マニュアル



はじめに

この度は「J-MOTTO ホスティング」サービスをご利用頂き、誠に有り難うございます。

本マニュアルには「J-MOTTO ホスティング」サービスのご利用にあたり、必要な情報が記載されております。さらに詳細な情報、最新情報につきましては、弊社ホームページでご確認、もしくは弊社サポートセンターまでお問い合わせ頂きますようよろしくお願い致します。

なお、J-MOTTO ホスティング 共用 B プランは「株式会社ネオジャパン」の協力により J-MOTTO が運営しています。

| J-MOTTO お客様サポートセンター | |
|---------------------|---|
| TEL | 0120-70-4515 (通話料無料) 平日 10:00～17:00 (土・日・祝日休) |
| チャット | https://www.j-motto.co.jp/00000000/manual/ (上記 WEB サイト内右下部) 平日 09:00～18:00 (土・日・祝日休) |
| メール | support@j-motto.co.jp |

【お客様へのお願い】

- ご利用のサービスを使用して、不特定多数の携帯電話メールアドレス、インターネットメールアドレス等へ大量メールの一斉送信行為は行わないようお願い申し上げます。サービス提供を行っている通信設備、あるいはサービスそのものに悪影響を与えるご利用については、直ちに停止させて頂くこととなります。
- お取引関係の無い、不明なメールアドレスから短時間に多くのメールが届いた場合、スパムメール(迷惑行為)と考えられる場合があります。多くの場合こういったメールは、そのままにしておくことと継続的になり、時として、特定のメールアドレスをめぐって集中的に送りつけられるといった悪質な行為を引き起こすこととなります。万が一、知らない人から短時間に多くのメールが届いた場合には、お手数でもご連絡をいただき、ご相談くださいますようお願い申し上げます。

【緊急時の連絡体制について】

メールの送受信に重大な障害が発生した場合のお客様に対する緊急連絡体制を下記のとおりいたします。弊社稼働情報サイト「<http://www.j-motto.support/>」に発生情報、経過報告を掲載致します。

目次

| | | |
|------|---------------------------------|----|
| 第1章 | ご利用に際してのご確認事項..... | 5 |
| 第2章 | 基本サービス仕様..... | 6 |
| 第3章 | 設定内容に関するご説明..... | 7 |
| 第4章 | 「登録完了通知書」をまず確認して下さい..... | 8 |
| 第5章 | 管理者ログイン画面..... | 11 |
| 第6章 | 管理者パスワードの変更..... | 14 |
| 第1節 | ログインすると下記画面となります..... | 14 |
| 第2節 | ドメイン管理者パスワードの変更の方法..... | 14 |
| 第7章 | PLESK管理メニューの各機能..... | 16 |
| 第1節 | ウェブサイトとドメイン..... | 16 |
| 第1項 | ファイルマネージャ..... | 16 |
| 第2項 | データベース..... | 17 |
| 第3項 | ウェブホスティングサービス..... | 19 |
| 第4項 | FTPアクセス..... | 19 |
| 第5項 | PHP設定..... | 20 |
| 第6項 | ウェブ統計..... | 22 |
| 第7項 | メール設定..... | 23 |
| 第8項 | パスワード保護されたディレクトリ(保護ディレクトリ)..... | 23 |
| 第9項 | ログ..... | 27 |
| 第10項 | ウェブユーザー..... | 28 |
| 第11項 | バックアップマネージャ(バックアップ)..... | 28 |
| 第12項 | スケジュール済みタスク..... | 31 |
| 第13項 | リソース利用状況..... | 34 |
| 第14項 | サブドメイン..... | 34 |
| 第2節 | メール..... | 35 |
| 第3節 | ファイル..... | 43 |
| 第4節 | 統計..... | 48 |
| 第5節 | アカウント..... | 51 |
| 第8章 | 各種ソフトウェアの設定例..... | 52 |
| 第1節 | FTPソフトの設定例(Windows編)..... | 52 |
| 第2節 | メールソフトの設定例(Windows、Mac)..... | 55 |
| 第1項 | Windows Liveメールを利用した場合..... | 55 |
| 第2項 | Mac Mailを利用した場合..... | 58 |
| 第9章 | 各種ソフトウェアの設定例に関する追加項目..... | 62 |
| 第10章 | SPAM (スパム) 対策に関する注意事項..... | 63 |

| | | |
|------|---------------------------------|----|
| 第1節 | SPAM(スパム)フィルターとは？ | 63 |
| 第2節 | ブラックリストとは？ | 64 |
| 第3節 | ブラックリストに載ってしまったら？ | 64 |
| 第11章 | お客様独自CGI及びPHPスクリプトの設置について | 65 |
| 第1節 | サーバ環境 | 65 |
| 第2節 | コンテンツの転送方法..... | 66 |
| 第3節 | CGIスクリプトのご利用について | 66 |
| 第4節 | PHPスクリプトの利用について..... | 69 |
| 第12章 | ".htaccess"を用いた設定変更..... | 70 |
| 第13章 | スクリプト設置に関する注意事項..... | 71 |
| 第14章 | おかしいな？ と思ったら (Q&A) | 72 |
| 第1節 | 管理画面について..... | 72 |
| 第2節 | メールについて | 73 |
| 第3節 | ウェブについて..... | 75 |

第1章 ご利用に際してのご確認事項

通信事業者より届きます書類には、「J-MOTTO ホスティング」のご利用に関するサーバ情報等の各種設定に関わる情報と重複する項目もございます。重複する情報の取り扱いにつきましては本マニュアルご参照の上、『登録完了通知』の内容をまずはご確認ください。ご不明な点等ございましたら下記サポートセンターまでお問い合わせください。

| J-MOTTO お客様サポートセンター | |
|---------------------|--|
| TEL | 0120-70-4515 (通話料無料) 平日 10:00~17:00 (土・日・祝日休) |
| チャット | https://www.j-motto.co.jp/00000000/manual/ (上記WEB サイト内右下部) 平日 09:00~18:00 (土・日・祝日休) |
| メール | support@j-motto.co.jp |

第2章 基本サービス仕様

| 基本サービス項目 | 内容 |
|-------------------------------------|---|
| 独自ドメイン取得・運用 | 弊社で独自ドメインの運用をお任せいただく場合には、独自ドメインの取得費用・ならびに更新料金も一切無料となります。属性型・地域型jp、汎用jpはもちろんのこと、com/net/orgのgTLDもご利用になれます。 |
| ディスク容量 | Webスペース、メールスペースを合わせ、1契約あたり2000MBの大容量。500MB単位での増設(オプション)が可能です。 |
| メールアカウント | 契約の範囲内であれば無制限に追加と削除が可能です。メールアカウント毎の設定は、管理者やユーザで自在に管理できます。 |
| メールウィルス対策 | 送受信メール双方のウィルスの検出・駆除・警告を標準(無料)でご提供いたします。常に最新のウィルスに対応しています。 |
| 豊富なサービスを標準装備 | 基本サービスに含まれています。 |
| メール機能 | メールサービス標準機能 |
| メール送受信・転送最大容量設定 | 各機能最大15MBとなります。 |
| メール転送機能 (旧「メールグループ」機能) | お客様のご都合にあわせ、自在にメールの転送を設定できます。個人のコントロールパネルから設定も簡単です。メールグループに新規メンバーを追加することで無制限に設定が可能です。 |
| 自動返信設定 | 不在時の自動返信設定機能。テキストメールだけでなく、添付ファイルもご利用になれます。個人のコントロールパネルから設定も簡単です。 |
| 管理者メール設定 | 優れたGUIによるコントロールパネルで、メール機能の設定変更、管理者通知機能などを管理できます。 |
| エンドユーザメール設定 | エンドユーザ個別にコントロールパネルを設定。メールグループや自動返信、転送などの機能設定をはじめ、パスワード変更もできます。 |
| Webホスティング機能 | Webホスティング標準機能 |
| Webコントロールパネル | ファイルの作成、削除、転送、編集、アクセス権限の変更をコントロールパネルより設定。 |
| サブドメイン対応 | 独自ドメイン上にサブドメインを作成・運用できます。最大5つまで登録可能。DNS登録申請が必要です。 |
| Web基本認証 | 特定のユーザのみにアクセスを許可するパスワード認証機能。 |
| お客様独自のCGIスクリプト(sh、perl)、PHPスクリプトに対応 | お客様独自のCGIスクリプト・PHPスクリプトも受入れ対応いたします。 |
| SSI対応 | ホームページ作成の拡張性をさらに向上するSSIに対応いたします。 |
| SSL対応 | オプション追加により、ホームページデータの暗号化に対応いたします。 |
| アクセスログ | ホームページのアクセス状況に関するさまざまな分析が可能になります。(Webalizerを利用、access log、access ssl log、error log、error ssl logの取得が可能) |
| サポートセンターをご用意 | 各種サービスのご利用方法からそれに伴うパソコンの設定・操作方法まで、豊富なノウハウと高いスキルを持った専門スタッフが丁寧にお答えします。 |

第3章 設定内容に関するご説明

弊社「J-MOTTO ホスティングサーバ」をご利用頂くには、必ず下記の2つの設定を行って頂く必要があります。

(1)管理者によりメール機能から全ユーザーのアカウント設定

(メールアドレス、パスワード等)

(2)ユーザーが個別に行って頂く「メールソフト」「ブラウザソフト」等の端末側の設定。

「登録完了通知」および「本ご利用サービスマニュアル」をご確認の上、設定下さい。

ご不明な点等ございましたら弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

ご注意！！

SMTP 認証について

弊社のサービスでは、SPAM メール等による送信メールサーバの不正利用を防止するため、送信メールサーバご利用の際には必ず SMTP 認証を必要とさせていただいております。「SMTP 認証:メールソフトの設定にある送信時認証機能を利用する」、という方法です。

SMTP 認証とは、メールの送信時に都度送信者の認証を行う仕組みのことをいいます。送信時の認証により、J-MOTTO ホスティングサーバのネットワーク以外からのメール配信の他、発信元を偽ってのSPAM(スパム)メール(*)の発信を防ぐことができます。

お客様の作業としましては、メールソフトのサーバ認証機能を設定いただくのみとなります。

例)WindowsLive メールの場合は P.55 メールソフトの設定例項番⑤の設定を実行ください。。

SPAM(スパム)メールとは

SPAM(スパム)メールとは、電子メールを利用して大量かつ無差別に送られる勧誘・広告メール、メールサーバのダウンを狙った架空の宛先への大量メールなどの迷惑メールのことをいいます。また、チェーンメールやウイルス情報メールなどの攻撃メールもSPAM(スパム)メールに含まれます。

これらSPAM(スパム)メールは一度に大量のメールを配信しますので、メールサーバに極端に負荷がかかり、インターネットに繋がりにくくなってしまいます。殆どのホスティング会社では、このような悪質なSPAM(スパム)メール被害を防ぐ為、POP 認証、もしくは SMTP 認証等の事前認証方式を採用しております。また、SPAM フィルターを登載し、SPAM(スパム)メールの攻撃をできる限り防ぐシステムとなっております。

第4章「登録完了通知書」をまず確認して下さい

弊社よりお届け致します「登録完了通知書」の説明をよくご確認の上、管理画面の設定を行ってください。

■ 管理画面の設定項目

The screenshot shows a registration completion notice from J-MOTTO Hosting. It includes contact information and a table of basic service settings. To the right, a legend maps letters A through L to specific settings in the table.

| 項目 | 内容 |
|---------------------|---------------------------------------|
| お申込サービス | J-MOTTO ホスティング 基本サービス |
| 課金開始日(基本サービス) | 2009-07-01 |
| 管理者ID(ログインID) | endo.com |
| 管理者パスワード(ログインパスワード) | King2540 (初期設定でご利用ください。変更は可能です。) |
| FTP ID(ユーザ名) | xxxxxx0001 |
| FTP パスワード | King2540 (初期設定でご利用ください。変更は可能です。) |
| 管理画面 URL | https://host.compage.net/442 |
| ドメイン名 | endo.com |
| 管理者メールアドレス | postmaster@endo.com |
| お客様ホームページ URL | http://www.endo.com |
| FTP ホスト名(アドレス) | ftp.endo.com (DNS 変更前: 115.87.55.24) |
| FTP 先サーバ IP アドレス | 115.87.55.24 |
| POP サーバ名 | pop.endo.com (DNS 変更前: 115.87.55.24) |
| SMTP サーバ名 | mail.endo.com (DNS 変更前: 115.87.55.24) |
| 送達サーバ(送信サーバー)情報 | 587 smtp.endo.com (ポート: 587) |

■ A お申込サービス

お申込時にご記入頂きましたサービス名が記載されます。

■ B 課金開始日

お申込頂きましたサービスの課金開始日が記載されます。

■ C 管理者 ID(ログイン ID)/パスワード(ログインパスワード)

ホーム画面にログインするための ID 及びパスワードが記載されます。

* 管理者 ID は変更不可能ですが、パスワードにつきましてはホーム画面より変更が可能です。

* 管理者メールアドレスをメールソフトに設定される場合は、こちらのパスワードをご登録下さい。

■ D FTP (file transfer protocol) ID(ユーザー名)/パスワード

ホームページ関連のデータを WWW サーバにアップロードする際、必要となる ID/パスワードが記載されます。

* FTPID 及びパスワードにつきましてはホームページ画面より変更が可能です。

■ E 管理画面 URL

弊社の各種サービス設定を行う為の管理用画面 URL が記載されます。

各種設定情報の管理ご担当者は本 URL の管理画面にログインすることで、「管理者パスワード・FTP パスワード・ユーザーごとのメールアドレス及びパスワード・転送先メールアドレス・自動応答メール」の設定が行えます。

■ F ドメイン名

お客様の取得したドメイン名が記載されます。

■ G 管理者メールアカウント

メールの管理を行うご担当者に対しては、弊社から情報を送信する為のメールアドレスとして予め特定のメールアドレスを「postmaster@お客様ドメイン名」に設定しております。*このアドレスは、メール転送の設定は通常のメールアカウントと同様に行うことができます。

*このアドレスにつきましては、弊社からサービスに関する重要なお知らせをご連絡する先のアドレスとなりますので、必ず以下のいずれかの設定を行い消去しないで下さい。

◇ 転送メールの設定を行う。

管理を行うご担当者宛に「管理者メールアカウント宛のメールが転送される転送設定」を行います。

◇ 管理者が常に確認する

ご利用のメールソフトへ管理者メールアカウント(「postmaster@お客様ドメイン名」)の受信設定を行い、定期的にメールを確認できるようにします。

* 管理者アカウントのメールパスワードは管理者 ID のパスワードと同様のものとなります。

■ H お客様ホームページ URL

ドメイン名に基づいた Web ページ公開用のアドレスが記載されています。

■ I FTP ホスト名(アドレス)

ホームページを WWW サーバにアップロードする際に利用するサーバ名が記載されています。

■ J FTP 先サーバ IP アドレス

移設のお客様は FTP ホスト名(アドレス)にこちらの情報をご入力下さい。

- **K POP(post office protocol)ー受信メールサーバ名**
お客様がメールを受信する際にご利用されますサーバ名が記載されています。
POP サーバ名はプロバイダから送付されます開通通知書等にも同様の項目がございますが、弊社発行の「登録完了通知書」をご参照頂くようお願いいたします。

- **L SMTP(simple mail transfer protocol)ー送信メールサーバ名**
お客様がメールを送信する際にご利用されますサーバ名が記載されています。
SMTP サーバ名はインターネットプロバイダ(ISP)から送付されます開通通知書等にも同様の項目がございますが、弊社発行の「登録完了通知書」をご参照頂くようお願いいたします。

- **O 送信サーバ(SMTP)ポート番号**
送信時のポート番号が記載されています。送信サーバは「587」ポートをご利用ください。

※ 弊社は、セキュリティを確保する為、SMTP 認証という認証システムを採用しております。弊社の SMTP サーバをお使い頂く際には、メールを送信する際に認証を受けないと、メールの送信ができませんようになっております。

第5章 管理者ログイン画面

(アクセス前にご確認ください)

管理画面は SSL 暗号化されていますが、SSL 通信用として TCP ポート 8443 番を使用します。

インターネットにアクセスする際にファイアウォールを通過している場合、SSL ポートとして TCP ポート 443 番に加え、TCP ポート 8443 番でも SSL 通信が可能となるよう許可設定を事前にお問い合わせいたします。

- 1) 管理画面には直接アクセスできないため、最初に「認証画面(セキュリティゲートウェイ)」へアクセスします

<http://cp.odas.jp/host2.j-motto.biz/>

- 2) 表示された「認証画面(セキュリティゲートウェイ)」の指示に従ってキーコードを入力します

表示された「キーコード」を入力して「ログイン画面に進む」をクリックしてください。

※大文字、小文字の区別はありません。下記サンプル画像の場合「es4ebt」でも認証可能です。

※表示される「キーコード」は毎回異なります。

以下に画像で表示されたキーコードを下の「キーコード」の欄に入力して「ログイン画面に進む」ボタンをクリックしてください。

キーコードを音声で読み上げることもできます。
キーコードが読みづらい場合には、変更することもできます。

キーコード

ES4EBT

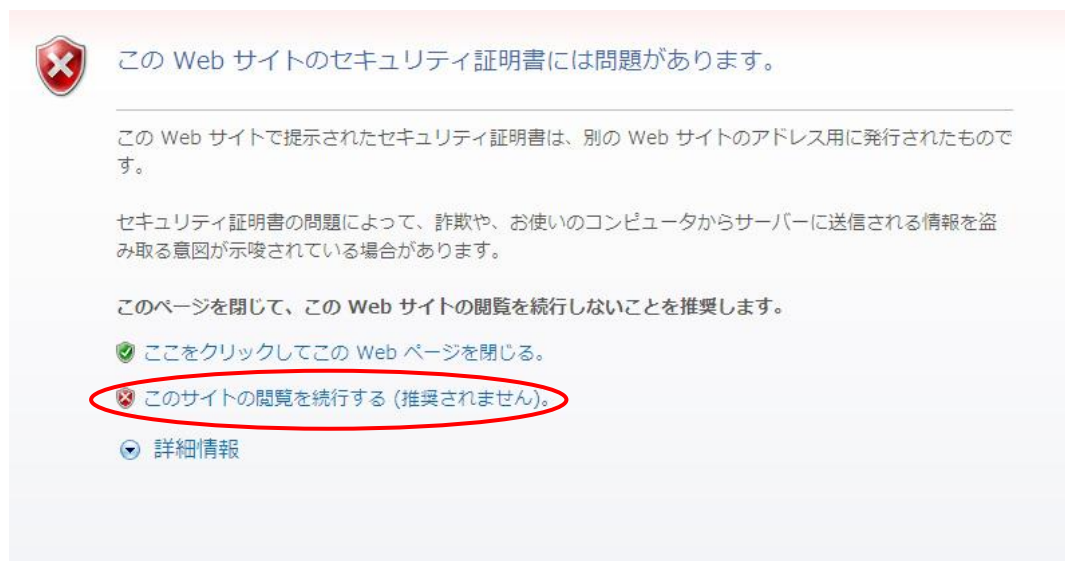
スピーカーアイコン

RELOAD

キーコード:

ログイン画面に進む

- 3) 自動的にページが切り替わり、SSL 証明書エラー画面が表示されるので、閲覧を続行します
※ホスティングサーバとブラウザ間の通信が TCP ポート 8443 番を利用した SSL 暗号化通信となります。
※下記画像は IE9 でアクセスした場合の証明書エラー画面です。



- 4) 最後に、サーバ管理画面(ログイン画面)から J-MOTTO ホスティング管理画面にアクセスします
ログイン画面が表示されますので、メールでご案内させて頂きました「postmaster@ドメイン名」をログイン欄へ、登録完了通知に有ります「管理者パスワード」をパスワード欄へ入力しログインします。

Plesk
Web Pro Edition

ユーザ名

パスワード

インターフェイス言語

[パスワードを忘れた場合](#)

PLESK 管理画面への接続には下記ブラウザが利用可能です。

【ブラウザ動作環境】

- Firefox 30.0 以上
- Microsoft Internet Explorer 8、9、10
- Safari 7.0 以上
- Google Chrome 35.0 以上

ご注意！！必ず管理者メールアカウントが使用できるようにしておいて下さい。

管理者アカウント(postmaster@お客様ドメイン名)につきましては、弊社からサポートやサービスに関しますお知らせをご連絡する先のメールアドレスとなりますので、必ず以下のいずれかの設定を行って下さい。

■ 転送メールの設定を行う

管理を行うご担当者宛に「管理者アカウント宛にメールが転送される転送設定」を行います。


■ 管理者が常に確認する

ご利用のメールソフトへ「postmaster@お客様ドメイン名」の受信設定を行い、定期的にメールを確認できるようにします。

* 管理者アカウントのメールパスワードは管理者 ID のパスワードと同様のものとなります。

ご注意！！パスワードをお忘れになった場合

- ① 予めお使いのメーラーに管理者メールアカウント(postmaster@お客様ドメイン名)の設定をしてあることが前提となります。
- ② 「パスワードを忘れた場合」をクリックし、下記画面を表示させます。



- ③ 「ユーザー名」「メールアドレス」を入力し、「送信する」を押下します。
- ④ 「postmaster@お客様ドメイン名」宛にパスワードが記載されたメールが届きます。
- ⑤ 再度管理者画面から「ドメイン名」と届いたパスワードにてログイン下さい。

第6章 管理者パスワードの変更

第1節 ログインすると下記画面となります



第2節 ドメイン管理者パスワードの変更の方法

管理者パスワードを変更する場合は上段の「アカウント」をクリックして、「マイ・プロフィール」を押下してください。



セキュリティ保護のために、定期的にパスワードはご変更下さい。

マイ・プロフィール

全般 **連絡先の詳細**

一般情報

担当者名 管理者

メールアドレス *

自分のアカウントの下にメールアドレスを作成
postmaster @neojapan-plesk12.co.jp

外部メールアドレスを使用
postmaster@neojapan-plesk12.co.jp

Plesk プリファレンス

ユーザ名 * postmaster@neojapan

パスワード ← 強

生成 表示

パスワード確認

Plesk 言語 日本語 (日本) ▼

* 必須フィールド

OK キャンセル

パスワード
管理画面に入るためのログインパスワード。同じパスワードを 2 度ご入力ください。

こちらの画面でパスワードの変更を行うことができます。

- ① パスワード欄とパスワードを確認欄に同じ任意の文字列 8 文字以上で、大文字、小文字、数字、特殊文字がそれぞれ少なくとも 1 つ含めて入力してください。例えば「P@ssw0rd12」のようなパスワードになります。
- ② 入力をやり直したい場合や間違って入力してしまった時は「キャンセル」ボタンをクリックし、再度①から作業してください。
- ③ 最後に「OK」を押下して変更を保存してください。

第7章 PLESK 管理メニューの各機能

PLESK 管理メニューでは各タブをクリックすると以下の機能が利用可能となります。



- ① 第1節 ウェブサイトとドメイン
- ② 第2節 メール
- ③ 第3節 ファイル
- ④ 第4節 統計
- ⑤ 第5節 アカウント

第1節 ウェブサイトとドメイン

ログイン後に表示される画面です。代表的な機能にこちらの画面からアクセスできます。また、全ての機能は、それぞれ上部のタブを押下すると表示されます。



第1項 ファイルマネージャ

ファイルマネージャを使用してドメイン内のファイルやディレクトリを管理することができます。ファイルマネージャは、コンテンツファイルのアップロード機能をはじめ、パーミッション設定の変更や新規ファイル(フォルダ)の作成も可能となっています。



※P.43【第3節 ファイル】でご案内させていただきます

第2項 データベース

MySQL が利用できますが、オプションサービスとなります。

※ サービスの利用申込みが必要となります。(有償となります)



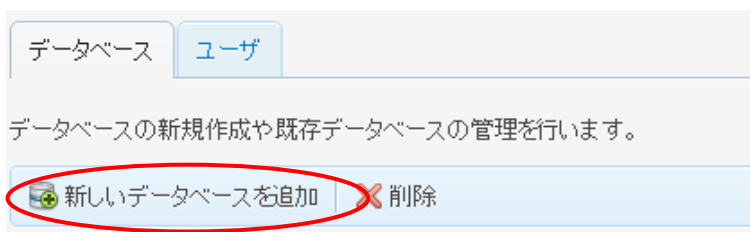
※MySQL の標準ポート(3306)にて接続が可能です。

■ データベース作成

※オプションサービスの登録完了後にデータベース作成を行ってください

新規にデータベースを作成するには、以下の手順を実行します。

- 1) データベースアイコンをクリック後の画面から「新しいデータベースを追加する」を押下します。



- 2) データベース名を入力して「OK」押下して作成完了。

※同時にデータベースユーザーを作成する場合は「新しいデータベースユーザーを作成」にチェックを入れて、「データベースユーザー名」、「新規パスワード」、「パスワードの確認」に入力して「OK」押下します。

新しいデータベースを追加する

全般

データベース名 * odas-neojapan_test

入力 MySQL

データベースサーバ ローカル MySQL サーバ (MySQL のデフォルト)

ユーザ

デフォルトデータベースユーザーを作成します。Plesk がこのユーザーの代理としてデータベースにアクセスします。データベースユーザーがデータベースに割り当てられていない場合、データベースにアクセスすることはできません。

新しいデータベースユーザーを作成

データベースユーザー名 * desknetuser

新規パスワード * ***** 強 (?)

生成 表示

パスワードの確認 * *****

* 必須フィールド

OK キャンセル

■ データベースユーザー追加方法

- 1) 『ユーザー』タブから「新しいデータベースユーザーを追加する」アイコンを押下します。

データベース ユーザ

Plesk ユーザがサーバ上のデータベースにアクセスするために使用するユーザアカウントを管理します。データベースには、アクセス可能なユーザが 1 人以上関連付けられている必要があります。多数のウェブアプリケーションをサイトに導入している場合、すべてのアプリケーションのデータベースへのアクセスが可能なユーザを 1 人用意すると便利です。このようなユーザを作成しておけば、アプリケーションのインストール時にこのユーザを指定することができます。

新しいデータベースユーザを追加 削除

- 2) 「データベース」のプルダウンメニューから対象のデータベースを選択して、「データベースユーザ一名」、「新規パスワード」「パスワードを確認する」を入力して「OK」押下します。

データベースサーバの追加

データベース: odas-neojapan_test

データベースユーザ名 *: desknetsuser

新規パスワード *: 強 (?)

パスワード確認 *:

このデータベースのデフォルトユーザにする
Plesk はデフォルトユーザのクレデンシャルをデータベースへのアクセスに使用します。

* 必須フィールド

OK キャンセル

- 3) 一覧より追加されたユーザーを確認できます。

情報: データベースユーザ desknetsuser が正常に作成されました。

データベース ユーザ

Plesk ユーザがサーバ上のデータベースにアクセスするために使用するユーザアカウントを管理します。データベースには、アクセス可能なユーザが 1 人以上関連付けられている必要があります。多数のウェブアプリケーションをサイトに導入している場合、すべてのアプリケーションのデータベースへのアクセスが可能なユーザを 1 人用意すると便利です。このようなユーザを作成しておけば、アプリケーションのインストール時にこのユーザを指定することができます。

新しいデータベースユーザを追加 削除

合計 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

| 名前 ^ | データベース | データベースサーバ |
|---------------------------------------|--------------------|----------------|
| <input type="checkbox"/> desknetsuser | odas-neojapan_test | ローカル MySQL サーバ |

合計 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

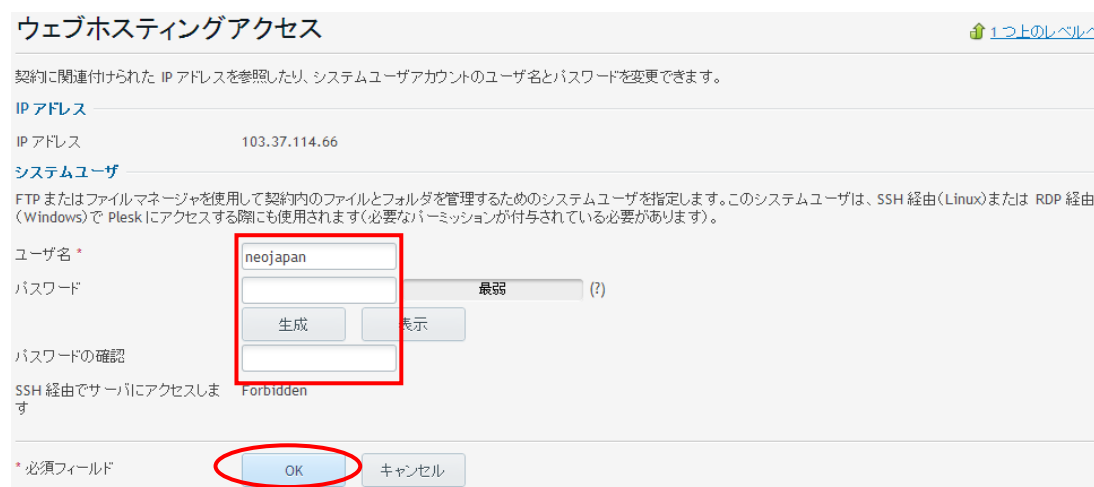
第3項 ウェブホスティングサービス

契約に関連付けられた IP アドレスを参照することや、FTP ユーザーカウントのユーザー名とパスワードを変更できます。



ウェブホスティングアクセスアイコンを押下すると以下画面になります。

FTP ユーザー名及びパスワードを変更する場合は、「ユーザー名」又は「パスワード」「パスワードの確認」を上書きして「OK」押下します。



ウェブホスティングアクセス [↑上のレベルへ](#)

契約に関連付けられた IP アドレスを参照したり、システムユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを変更できます。

IP アドレス

IP アドレス 103.37.114.66

システムユーザー

FTP または ファイルマネージャを使用して契約内のファイルとフォルダを管理するためのシステムユーザーを指定します。このシステムユーザーは、SSH 経由 (Linux) または RDP 経由 (Windows) で Plesk にアクセスする際にも使用されます (必要なパーミッションが付与されている必要があります)。

ユーザー名 *

パスワード 最弱 (?)

パスワードの確認

SSH 経由でサーバにアクセスします Forbidden

* 必須フィールド

※こちらの「ユーザー名」又は「パスワード」を変更しますと、「第6項 ウェブ統計」のベーシック認証の「ユーザー名」「パスワード」も変更になります。

第4項 FTP アクセス

FTP アクセスとは Apache 内のユーザーカウントです。これは個別に FTP アクセスできるパーソナライズされた Web ページの場所を定義するのに使用されます。



※FTP アカウントはサービス開始時に既に登録されております (個別に追加することはできません)

■ FTP アカウント編集

FTP アカウントの ID やパスワードを変更できます。

- 1) 「FTP アクセス」アイコンをクリック後の以下の画面で、編集したい該当の FTP アカウント (名前) を押下します。

FTP アカウント [↑ 1つ上のレベルへ](#)

FTP アカウントを新規作成または管理します。

合計 1 件 ページあたりのエントリ数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

| <input type="checkbox"/> | T | 名前 ^ | ホーム |
|--------------------------|---|----------|-----|
| <input type="checkbox"/> | | neojapan | / |

合計 1 件 ページあたりのエントリ数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

- 2) 「ユーザー名」又は「パスワード」「パスワードの確認」を上書きして「OK」押下します。

ウェブホスティングアクセス [↑ 1つ上のレベルへ](#)

契約に関連付けられた IP アドレスを参照したり、システムユーザーアカウントのユーザ名とパスワードを変更できます。

IP アドレス

IP アドレス 103.37.114.66

システムユーザ

FTP または ファイルマネージャを使用して契約内のファイルとフォルダを管理するためのシステムユーザを指定します。このシステムユーザは、SSH 経由 (Linux) または RDP 経由 (Windows) で Plesk にアクセスする際にも使用されます (必要なパーミッションが付与されている必要があります)。

ユーザ名 *

パスワード 強 (?)

パスワードの確認

SSH 経由でサーバにアクセスします Forbidden

* 必須フィールド

※こちらの「ユーザー名」又は「パスワード」を変更しますと、「第3項 ウェブ統計」のベーシック認証の「ユーザー名」「パスワード」も変更になります。

第5項 PHP 設定

ホスティングサーバの PHP 構成を確認できます。

※サーバ側の設定を変更することはできません

- 1) PHP 設定アイコンを押下します



- 2) 以下の画面で設定情報が確認可能です。

バージョンに応じて、ここでこのウェブサイトに対して固有の PHP 構成を指定または確認できます(契約内の他のサイトは対象外)。カスタム PHP 構成は、PHP スクリプトによってシステムリソース消費量を抑えたい場合や、特定のウェブアプリケーションの要件を満たしたい場合に便利です。パラメータをデフォルト値に設定すると、PHP はサーバ全体の PHP 構成に含まれるパラメータ値を使用します。

パラメータ値には以下のプレースホルダを使用できます。

- {DOCROOT}: このウェブサイトのドキュメントルートディレクトリ。
- {WEBSPECEROOT}: このウェブサイトを格納するウェブスペースのドキュメントルートディレクトリ。
- {TMP}: 一時ファイルを保存するディレクトリ。

ご使用の PHP バージョンは 5.3 です。

パフォーマンス設定

| | |
|---------------------|-------|
| memory_limit | デフォルト |
| max_execution_time | デフォルト |
| max_input_time | デフォルト |
| post_max_size | デフォルト |
| upload_max_filesize | デフォルト |

共通設定

| | |
|-----------------------------|------------------------------|
| safe_mode | on |
| safe_mode_include_dir | デフォルト |
| safe_mode_exec_dir | デフォルト |
| include_path | デフォルト |
| session.save_path | デフォルト |
| mail.force_extra_parameters | デフォルト |
| register_globals | デフォルト |
| open_basedir | {WEBSPECEROOT}{/}{:}{TMP}{/} |
| error_reporting | デフォルト |
| display_errors | デフォルト |
| log_errors | デフォルト |
| allow_url_fopen | デフォルト |
| file_uploads | デフォルト |
| short_open_tag | デフォルト |
| magic_quotes_gpc | デフォルト |

* 必須フィールド

OK

キャンセル

第6項 ウェブ統計

Web サーバのログ分析の結果を確認できます。

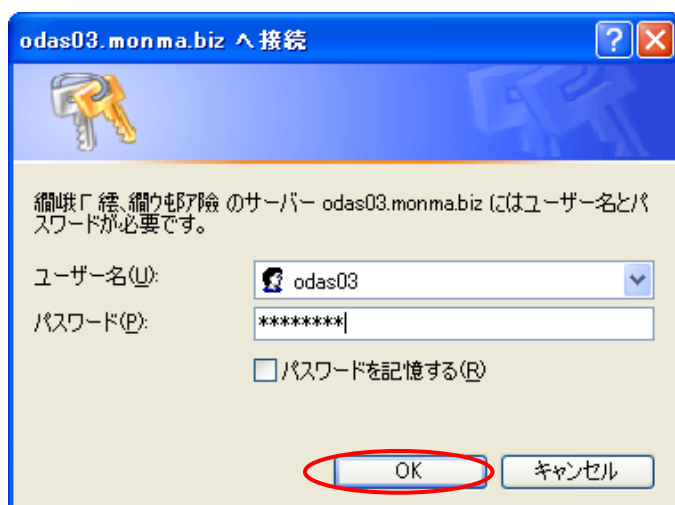
■ ウェブ統計確認方法

- 1) ウェブ統計アイコンを押下します

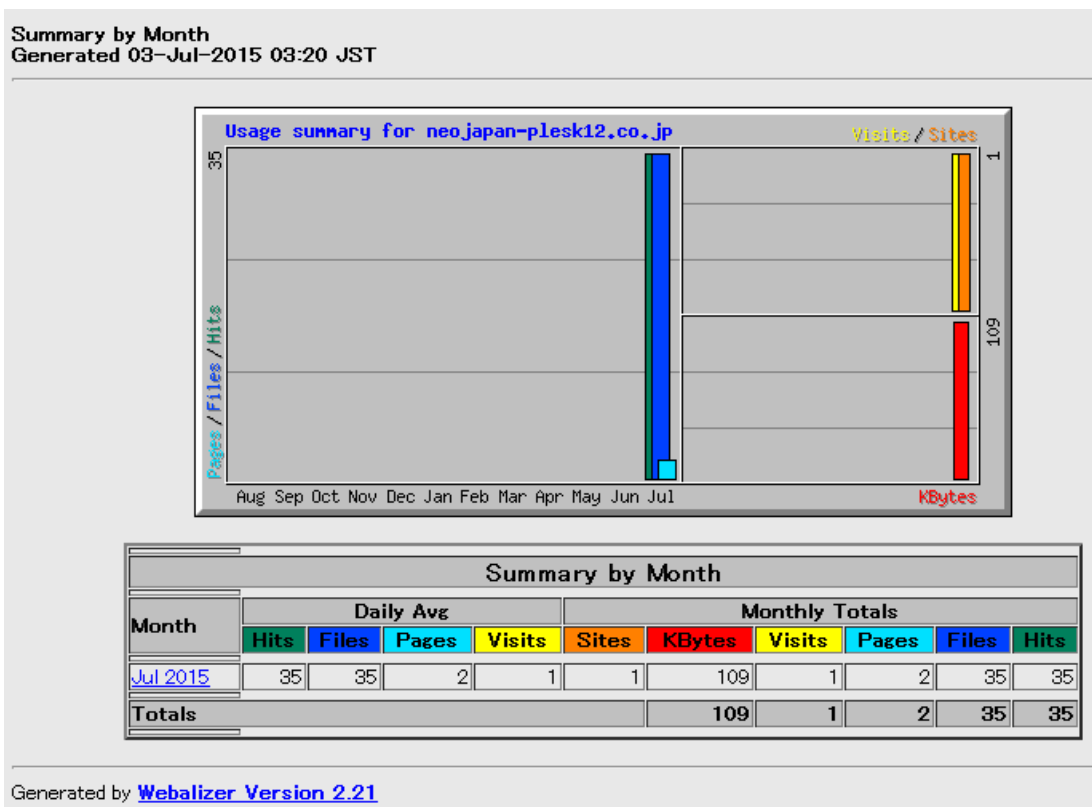


- 2) ベーシック認証のポップアップ画面が表示されますので、「FTPID」「FTP パスワード」を入力して「OK」押下します。

※ここで入力する「ユーザー名」「パスワード」は登録完了通知書に記載の「FTPID」と「FTP パスワード」です。



- 3) Web サーバのログ分析「webalizer」画面が確認できます。



第7項 メール設定



※P.35【第2節 メール】でご案内させていただきます

第8項 パスワード保護されたディレクトリ(保護ディレクトリ)

保護ディレクトリを作成すると、そのディレクトリへのアクセスはパスワードにより制限されます。設定するために、「パスワード保護されたディレクトリ」を押下してください。



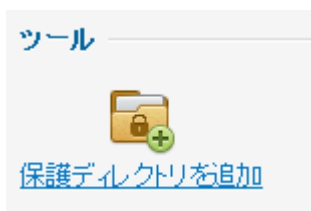
※注意点:

FTPプログラムからではなくコントロールパネルより保護ディレクトリを作成されることを強く推奨いたします。

FTPプログラムから作成された場合は、コントロールパネルからは変更を認識できません。

■ 保護ディレクトリの作成

- 1) 「保護ディレクトリの追加」を押下してください。



- 2) 「ディレクトリ名」を入力して「OK」押下します。
 ※「保護エリアのタイトル」を登録すると、ユーザーがこの保護ディレクトリにアクセスを試みた際に、このヘッダーテキストが表示されます。

- 3) 保護ディレクトリ一覧に作成したディレクトリ名が表示されます。

| 名前 ^ | 保護エリアのタイトル |
|--------------------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> /plesk-stat | ドメイン統計 |
| <input type="checkbox"/> /test | |

■ 保護ディレクトリユーザーの作成

- 1) 作成されたディレクトリ名を押下します。

| 名前 ^ | 保護エリアのタイトル |
|--------------------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> /plesk-stat | ドメイン統計 |
| <input type="checkbox"/> /test | |

- 2) 「新しいユーザーを追加」アイコンを押下します。



- 3) 「ユーザー名」「新しいパスワード」「パスワードを確認」に入力して「OK」押下します。

保護ディレクトリユーザ

ユーザー名 * desknets

古いパスワード *****

新しいパスワード * 強 (?)

パスワード確認 *

* 必須フィールド

OK キャンセル

- 4) 保護ディレクトリの管理ページに戻ります。ユーザーリストには新たに追加されたユーザー名が表示されます。

✓ 情報: 保護ディレクトリ desknets にアクセスするユーザアカウントが作成されました

ツール

新しいユーザを追加 ディレクトリ設定

保護ディレクトリユーザ

削除

検索 検索結果をリセット

合計 保護ディレクトリユーザ: 1

| <input type="checkbox"/> | 名前 ^ |
|-------------------------------------|----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | desknets |

合計 保護ディレクトリユーザ: 1

- 5) 既存の保護ディレクトリユーザを削除するには、削除したいユーザー名のチェックボックスにチェックし、「削除」アイコンを押下します。

削除

ディレクトリユーザを削除します

検索 検索結果をリセット

合計 保護ディレクトリユーザ: 1

| <input type="checkbox"/> | 名前 ^ |
|-------------------------------------|----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | desknets |

- 6) 確認画面で「スナップショットを削除」にチェックして「OK」押下します。

削除

保護ディレクトリの以下のユーザが削除されます。

desknets

スナップショットを削除

OK キャンセル

- 7) 保護ディレクトリユーザのパスワードを編集する場合は、リスト内のユーザー名を押下してください。

名前 ^

desknets

- 8) 「新しいパスワード」「パスワードを確認する」に入力して「OK」押下します。

保護ディレクトリユーザ

古いパスワード *****

新しいパスワード * 強 (?)

パスワード確認 *

* 必須フィールド

OK キャンセル

■ 保護ディレクトリの編集

- 1) ディレクトリ一覧の画面のツールから「ディレクトリ設定」を押下します。



- 2) 設定画面で各項目を編集して、「OK」押下します。

設定

ディレクトリ名 *

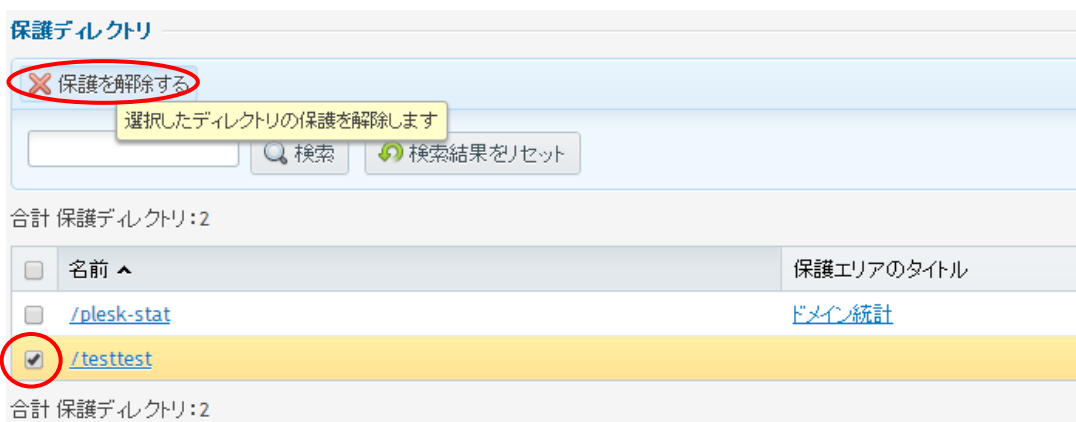
保護エリアのタイトル

* 必須フィールド

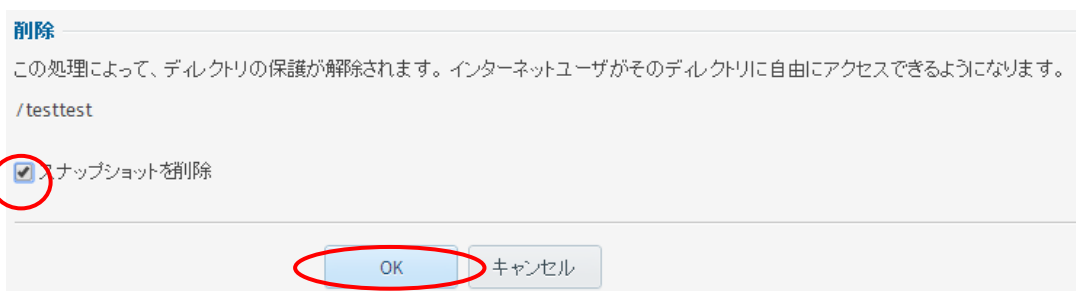
OK キャンセル

■ 保護ディレクトリの削除

- 1) 保護ディレクトリ一覧より、削除したいディレクトリ名のチェックボックスにチェックし、「保護を解除する」アイコンを押下します。



- 2) 確認画面で「スナップショットを削除」にチェックして「OK」押下します。



第9項 ログ

ログファイルの管理が可能です。

■ ログ管理機能へのアクセス

- 1) 「ログ」アイコンを押下します。



- 2) ログファイルの管理画面になります。

neojapan-plesk12.co.jp のログファイル管理 ↑ 1つ上のレベル

ログファイル内の表示する行(ファイル末から)

ログローテーション | 削除

合計 30 件 ページ: 最初 << 1 2 >> 最後 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

| <input type="checkbox"/> | 変更日 | 名前 ^ | サイズ |
|--------------------------|-----------------|---|-----------|
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/7 03:42 | access_log | 0 B ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/7 03:42 | access_log.processed.1.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/6 03:28 | access_log.processed.2.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/5 03:19 | access_log.processed.3.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/4 03:10 | access_log.processed.4.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/3 03:14 | access_log.processed.5.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/7 03:48 | access_log.stat | 0 B ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/7 03:48 | access_log.webstat | 0 B ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/1 18:44 | access_ssl_log | 0 B ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/7 03:42 | access_ssl_log.processed.1.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/6 03:28 | access_ssl_log.processed.2.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/5 03:19 | access_ssl_log.processed.3.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/4 03:10 | access_ssl_log.processed.4.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/2 03:10 | access_ssl_log.processed.5.gz | 4.00 KB ↓ |
| <input type="checkbox"/> | 2015/07/7 03:48 | access_ssl_log.stat | 0 B ↓ |

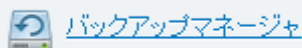
- ・ 「ログファイル内の表示する行(ファイル末から)」フィールドに、1 ページに表示される行数を入力することができます。
- ・ ログファイルを閲覧するには、リスト内のファイル名をクリックしてください。Log Files Viewer ウィンドウが別々に開き、ログファイルのコンテンツが表示されます。
- ・ ログファイルをローカルマシンに保存することもできます。リスト内で対象となるログの アイコンを押下してダウンロードしてください。
- ・ 複数のログファイルをリストから削除するには、対応するチェックボックスをオンにし「削除」を押下してください。

第 10 項 ウェブユーザー

対応しておりません。

第 11 項 バックアップマネージャ(バックアップ)

サーバに設定してあるお客様情報のバックアップの管理ができます。



※【お客様へのお願い】

バックアップを取得することは可能ですが、リストア作業(サーバリポジトリにファイルをアップロードする)をお客様の権限で実施しますとエラーになる可能性がある為、恐れ入りますが、リストアを希望される場合は、まずは弊社へご相談頂きますようお願い致します。




■ バックアップ/復元機能の概要

本機能を使用するためには、の「バックアップマネージャ」アイコンを押下してください。

バックアップマネージャのページが表示され、バックアップツール、保存されたバックアップファイル(サーバリポジトリ)と現在のバックアップタスクが表示されます。


neojapan-plesk12.co.jp のバックアップマネージャ

サーバリポジトリ | **個人 FTPリポジトリ** | 現在のバックアップタスク

 バックアップ  再読み込み  削除 | 追加アクション ▾

■ バックアップ作業手順詳細

- 1) ツールより「バックアップ」アイコンを押下します。

 バックアップ

「バックアップ設定」のページが表示されます。

バックアップ設定

バックアップ名にプレフィックスを追加

コメント

マルチボリュームバックアップを作成

ボリュームサイズ(MB)

バックアップの保存場所
FTPリポジトリ設定が指定されていません。

バックアップタスクの完了時に、次の宛先に通知メールを送信

バックアップのコンテンツ




バックアップ

ドメイン設定
 ドメインの構成とコンテンツ

バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止
バックアッププロセス中、ウェブサイトへの訪問者はカスタムエラードキュメントページに、検索エンジンに対応する HTTP コード 503 でリダイレクトされます。

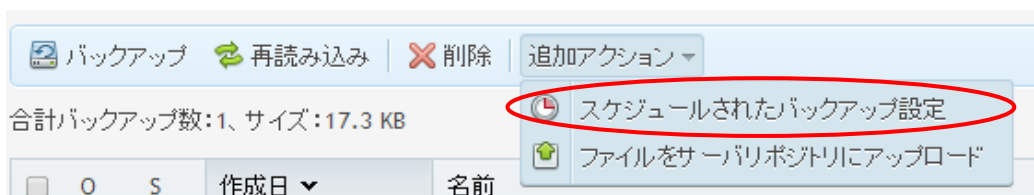
- 2) バックアップを取得する場合は、「OK」を押下します。
バックアップ作業が自動的に開始されます。
- 3) バックアップの作業が完了しますと「バックアップマネージャ」の画面にもどり、作成したバックアップファイルが画面下方に表示されます。

合計バックアップ数:1、サイズ:17.3 KB ページあたりのエントリ数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

| <input type="checkbox"/> | O | S | 作成日 ▾ | 名前 | コメント | サイズ |
|--------------------------|---|---|------------------|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> |  |  | 2015/07/13 17:08 | backup_neojapan-plesk12.co.jp_info_1507131708.xml | 契約のバックアップが neojapan-plesk12.co.jp によって作成されました。 | 17.3 KB  |

■ バックアップを自動化(スケジューリング)する場合

- 1) 「追加アクション」より「スケジュールされたバックアップ設定」を押下します



「スケジュールされたバックアップ設定」ページが表示されます

スケジュール

このバックアップタスクをアクティブ化

バックアップ間隔

バックアップ作成開始時刻 (HH:mm) +09:00 GMT *

スケジュールされているバックアップタスクのチェック間隔は 15 分です。決まった時間にバックアップタスクを開始させる場合、タスクを必要な時間より最低 15 分以上前にスケジュールしてください。

バックアップ設定

バックアップ名にプレフィックスを追加

マルチボリュームバックアップを作成

ボリュームサイズ(MB)

バックアップの保存場所
FTP リポジトリ設定が指定されていません。

リポジトリ内の最大バックアップ数

ディスク容量を節約するために、リポジトリに保存されるバックアップ数を制限することができます。この制限に達すると、新規作成したバックアップで古いバックアップが上書きされるようになります。

このバックアップタスクを実行中にエラーが発生したときに、次の宛先に通知メールを送信

バックアップのコンテンツ

バックアップ ドメイン設定 ドメインの構成とコンテンツ

バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止
バックアッププロセス中、ウェブサイトへの訪問者はカスタムエラーページに、検索エンジンに対応する HTTP コード 503 でリダイレクトされます。

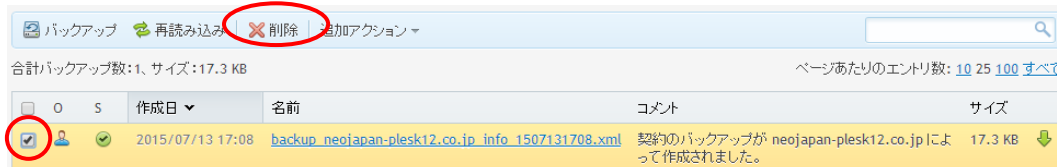
- 2) 各項目に入力して「OK」押下します。
- ・ このバックアップをアクティブ化する:
チェックを入れるとバックアップ機能が有効になります。
 - ・ バックアップ間隔:
バックアップ間隔を選択出来ます。(毎日、毎週、毎月)
 - ・ バックアップ作成開始時刻:
バックアップを開始する時間を設定します。
 - ・ バックアップ名にプレフィックスを追加する:

入力したテキスト文字がバックアップファイル名の先頭に入ります。

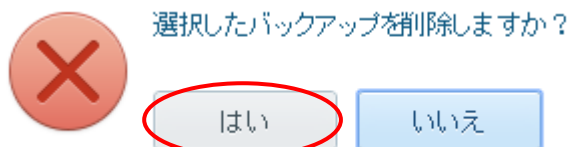
- マルチボリュームバックアップの作成:
チェックを入れると、指定サイズで分割してバックアップファイルを作成します。
- リポジトリ内の最大バックアップ数:
バックアップファイルの最大保存数を設定します。(世代管理)
※設定した数を超えると、保存場所にある古いバックアップファイルから順番に消去されます。
- このスケジュールバックアップタスクを実行時にエラーが発生したときに、次の宛先に通知メールを送信:
エラーが発生した場合、メールで登録アドレス宛に通知します。
- バックアップ:
バックアップ対象を選択します。「ドメイン設定」又は「ドメインの構成とコンテンツ」から選択。
- バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止:
チェックを入れると、バックアップ取得中はサービスにアクセスできなくなります。

■ バックアップファイルの削除

サーバレポジトリのバックアップファイルリストより削除したいバックアップファイルのチェックボックスをチェックして、「削除」を押下します。



削除を確認するメッセージが表示されますので、「OK」押下します。



第12項 スケジュール済みタスク

システムユーザーのスケジュールタスクを閲覧したり、クローンタブメッセージの送信先メールアドレスの設定や、タスクの追加や削除を行います。

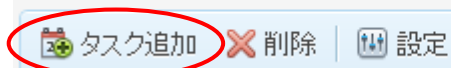
■ 新しいタスクの追加

- 1) 「スケジュール済みタスク」アイコンを押下します。



- 2) 「タスク追加」アイコンを押下します。

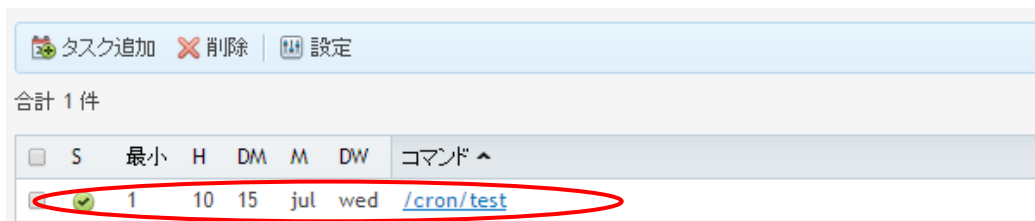
スケジュール済みタスク



3) 以下画面の各項目に入力して「OK」押下します。

- ・ 有効:
チェック有無でスケジュールされたタスクのステータスを選択します。
- ・ 分:
0 から 59 もしくは「*」を入力します。
- ・ 時間:
0 から 23 もしくは「*」を入力します。
- ・ 日:
1 から 31 もしくは「*」を入力します。
- ・ 月:
1 から 12 もしくは「*」を入力します。または月を選択のプルダウンメニューから選択します。
- ・ 曜日:
0 から 6(6が日曜日)もしくは「*」を入力します。または曜日選択のプルダウンメニューから選択します。
- ・ コマンド:
実行されるコマンドを入力します。

4) スケジュール済みタスクの画面に戻り、登録したタスクが一覧に表示されます。

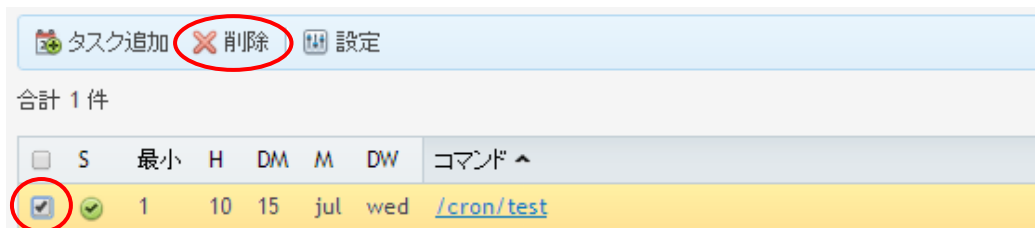


タスクリストをソートするには、ソートパラメータ名をクリックしてください。列はソートの順序を表します。ソートの基準は以下の通りです。

- ・(S)tatus
- ・(最小)Minute
※(最小)は(分)となります
- ・(H)our
- ・(DM)Day of the Month
- ・(M)onth
- ・(DW)Day of the Week
- ・コマンド

■ スケジュールされたタスクの削除

- 1) スケジュールされたタスクをリストから削除するには、削除するタスクのチェックボックスにチェックして、「削除」アイコンを押下してください。



- 2) 確認画面で「OK」押下します。



■ 特定のメールアドレスに通知メッセージを送信する場合は、「設定」アイコンを押下します。



「指定メールアドレスに送信」を選択して、対象のメールアドレスを入力して「OK」押下します。

スケジューラ通知

スイッチオフ済み

デフォルトメールアドレスに送信(neojapan@host1.esu2-comstage.net)

指定メールアドレスに送信

第13項 リソース利用状況

サービス契約のディスク容量やアクセスのトラフィック状況を確認できます。

※P.48【第4節 統計】でご案内させていただきます



第14項 サブドメイン

サブドメインはお客様の権限で作成することはできません。ご利用される場合は、別途オプション申込書にて弊社までお申込頂けますでしょうか。最大5個のサブドメインを作成できます。(登録は有料です。)

■ サブドメインサービスの機能

通常のお客様ドメインの他に、サブドメインでのホームページ公開が可能です。

サブドメインの例:

www.domainxxx.co.jp

(通常のホームページURL)

tokyo.domainxxx.co.jp

(東京支店のホームページとして活用)

■ 本サービスご利用に関するご注意事項

① サブドメインは、ウェブサーバとしてのみご利用いただけます。

(サブドメインでのメールサービスはご利用いただけません)

② サブドメインで構築したウェブコンテンツのURLに、「www」(プレフィクス)は付加できません。

○ http://tokyo.domanxxx.co.jp/

× http://www.tokyo.domainxxx.co.jp/

■ サブドメインサービス設定完了通知

サブドメインサービスをお申込いただきますと、サービス開通のお知らせとしまして、「サブドメインの設定完了通知」が管理者様に届きます。

サブドメインサービス「設定完了通知書」例

サブドメイン名「tokyo.neo.com」、「osaka.neo.com」をお申し込みの場合

| お申込サービス | サブドメインサービス |
|------------|---------------|
| サブドメイン名(1) | tokyo.neo.com |
| サブドメイン名(2) | osaka.neo.com |
| サブドメイン名(3) | |
| サブドメイン名(4) | |

※FTP 接続方法につきましては、P57、FTP ソフトの設定例(Windows 編)をご参照ください

- サブドメインサービスをご利用の場合のディレクトリ構造は下記の通りです。



メインのコンテンツを入れる「httpdocs」ディレクトリと同列に「サブドメイン」ディレクトリがあり、この中に作成したサブドメイン名がついたディレクトリが作成されます。そのディレクトリ内にはさらに、「cgi-bin」ディレクトリが作成されます。

第2節 メール

メールの管理画面になります。

【メールサービスに関して以下の機能をご利用いただけます】

- ・ メールアドレスの作成、編集、削除と個々のメールボックス容量を制限する。
- ・ 単独のメールアドレスを複数のエイリアス(別名)で使用する。
- ・ メールを他のメールアドレスへ転送するための設定をする。
- ・ メールアドレスに送信されたメールへの自動返信を設定する。
- ・ 受信メールに対する統合的なスパムフィルター機能を個別に管理・設定する。
- ・ 個々のメールアドレスに対し、アンチウイルス機能を個別に管理・設定する。

※過去提供していた「メールリングリスト」機能はサポート対象外となります。

なお、過去提供していた「メールグループ」は転送機能が拡張され、同等の機能となりましたので「メールグループ」としてのご提供は無くなりました。

ウェブサイトとドメイン | メール | ファイル | 統計 | アカウント

メール

メールアドレス | [メール設定](#)

ドメインに紐付けられたメールアカウントを作成・管理します。各メールアカウントに対し、メールボックス、同じメールボックスに追加できるメールアドレス(メールエイリアス)数、自動応答、1つ以上のメールアドレスへのメール転送などを設定することができます。また、アンチスパムやアンチウイルスサービスを使用できる場合は、これらをセットアップすることもできます。

[メールアドレスを作成](#)
[使用量統計を更新](#)
[削除](#)

合計 1 件 ページあたりのエントリ数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

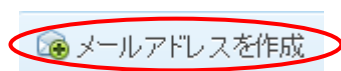
| メールアドレス ^ | ユーザ | 使用量 |
|--|-----|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> postmaster@neojapan-plesk12.co.jp | 管理者 | 無制限 中、4.00 KB 使用 ? |

合計 1 件 ページあたりのエントリ数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

第1項 各種メール設定

■ メールアドレス作成

- 1) 「メールアドレスを作成」を押下します



- 2) メールアドレス作成画面の全般タブで以下事項を入力して「OK」押下します

メールアドレスを作成 [1つ上のレベルへ](#)

全般 | 転送 | メールエイリアス | 自動応答 | スпамフィルタ | アンチウイルス

このメールアカウントに補助ユーザが関連付けられている場合(コントロールパネルへのアクセスが有効)、このページでの変更は、この補助ユーザの設定にも適用されます。特に、メールアドレスとパスワードを変更すると、補助ユーザのログイン名とパスワードが新しい画面に変わります。

メールアドレス * @ neojapan-plesk12.co.jp

コントロールパネルへのアクセス (ユーザ名: neotest@neojapan-plesk12.co.jp)

パスワード 強 (?)

このパスワードは、メールボックスへのアクセスと、Plesk へのログインに使用されます(アドレスが補助ユーザに関連付けられている場合)。

パスワード確認

メールボックス

デフォルトサイズ(無制限)

別のサイズ KB ▼

サイズをデフォルトサイズより大きくすることはできません。

Plesk での説明

説明は、このメールアカウントへのアクセス権を持つすべての人に表示されます。

* 必須フィールド

- **メールアドレス:**
@マーク前のアカウント名を入力します。
- **コントロールパネルへのアクセス:**
チェックを入れると、ユーザーとしてコントロールパネルにアクセスでき、自身アカウントの各種設定の変更等ができるようになります。
- **パスワード:**
メールのパスワードを入力します。
※パスワードには、アカウント名と同じものは使用できません。
※「生成」ボタンから無作為に抽出したパスワードを作成することも可能です。

- ・ メールボックス:
チェックを外すとメールボックスが無効になります。有効にした状態で個別にメールボックスのサイズを指定できるようになっております。(別のサイズ)

3) 登録完了になりますと、メールアドレスの一覧に該当アドレスが追加されます

🟢 情報: メールアドレス neotest@neojapan-plek12.co.jp が作成されました。

メールアドレス [メール設定](#)

ドメインに紐付けられたメールアカウントを作成・管理します。各メールアカウントに対し、メールボックス、同じメールボックスに追加できるメールアドレス(メールエイリアス)数、自動応答、1つ以上のメールアドレスへのメール転送などを設定することができます。また、アンチスパムやアンチウイルスサービスを使用できる場合は、これらをセットアップすることもできます。

🔍 メールアドレスを作成 | 🔄 使用量統計を更新 | 🗑️ 削除

合計 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

| メールアドレス ^ | ユーザ | 使用量 |
|--|---|------------------|
| neotest@neojapan-plek12.co.jp | neotest@neojapan-plek12.co.jp | 無制限 中、0 B 使用 |
| postmaster@neojapan-plek12.co.jp | 管理者 | 無制限 中、4.00 KB 使用 |

⚠️ ご注意 !!

メールアドレスで使用できる文字は、“半角英数小文字” “.” “ピリオド” “_ アンダーバー” “- ハイフン”、“& アンパーサンド”、“+ プラス”、“ ’ ダッシュ”

パスワードで使用できる文字は“半角英数小文字” “半角英数大文字” “特殊文字” 「!」、「@」、「#」、「\$」、「%」、「^」、「&」、「*」、「?」、「_」、「~」となります。但し、RFCに準拠しないメールアドレス

(例: @ 直前に“.”ピリオド”を配したメールアドレスなど)のご利用については、動作の保証は致しかねます。

また、メールアドレスにつきましては、送信先の環境により大文字を使用していることで不具合を引き起こす場合があります。大文字で指定された文字は、登録時に自動的に小文字に変換されます。また、文字数につきましてメールアドレスは @ およびドメインの文字数を含み 254 文字以内、パスワードは 8 文字以上で、かつメールアドレスと異なるように設定してください。

■ メール転送設定

ひとつのメールボックスから他のメールアドレスへメールを転送することができます。

メールの転送かエイリアス(別名)を設定することで、メッセージを異なるメールアドレスへ転送することができます。メールは他のドメインに属する外部のメールアドレスへも転送できます。以下はこの機能を使う想定される場面です。

- メールボックス利用者の事情で、一時的にメールの転送が必要になった。
- メールボックス利用者の退職にともない、メールを新しい担当者のアドレスへ転送する。
- 新しいアカウントへメールを転送して、古いメールボックスと置き換える。 等々

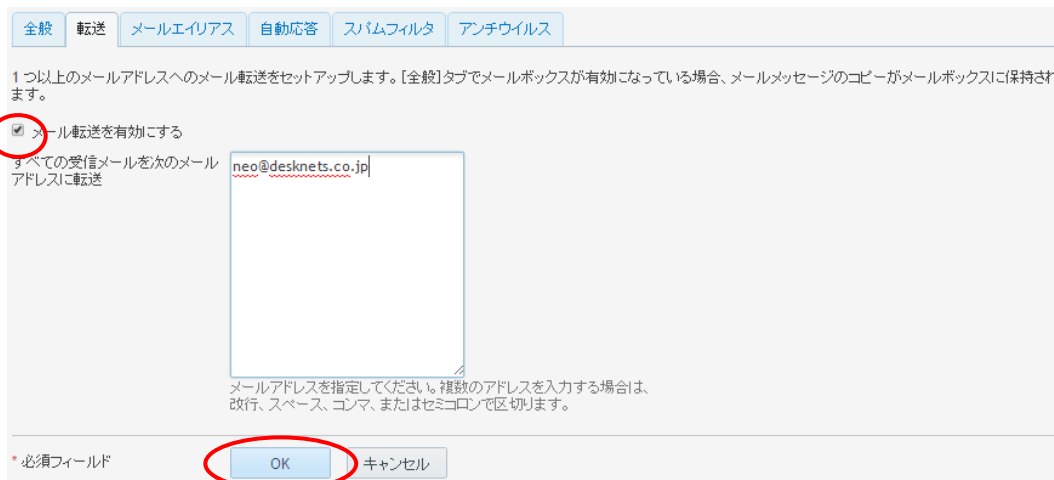
1) メールアドレスの一覧より転送元のメールアドレスを押下します

| メールアドレス ^ | ユーザ | 使用量 |
|--|---|------------------|
| neotest@neojapan-plek12.co.jp | neotest@neojapan-plek12.co.jp | 無制限 中、0 B 使用 |
| postmaster@neojapan-plek12.co.jp | 管理者 | 無制限 中、4.00 KB 使用 |

2) 転送タブを押下します



3) 「メール転送を有効にする」にチェックを入れ、転送先のメールアドレスを登録して「OK」押下します



※複数のメールアドレスを登録することも可能です

4) メールアドレスの一覧画面に戻り、設定が完了したメッセージが表示され、転送先のメールアドレスが表示されます



■ メールエイリアス

「メールエイリアス」ではメールアドレスのエイリアス(別名)を設定可能です。メールエイリアスを設定すると「エイリアス名がメールアドレス」として使用できるようになります。

1) メールアドレスの一覧よりメールエイリアスを設定したいメールアドレスを押下します



2) メールエイリアスタブを押下します



3) メールエイリアス欄にエイリアスアドレスを入力して「OK」押下します

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

メールエイリアスとは、プライマリメールアドレスに関連付けられている代替メールアドレスです。メールエイリアス宛てに送信されたメールはすべてプライマリメールアドレスが受信します。

メールエイリアス @neojapan-plesk12.co.jp

[メールエイリアスを追加](#)

* 必須フィールド

※「メールエイリアスを追加」より複数のエイリアスアドレスを登録することも可能です

- 4) メールアドレスの一覧画面に戻り、設定が完了したメッセージが表示され、転送先のメールアドレスが表示されます。

🟢 情報: メールアドレス neotest@neojapan-plesk12.co.jp の設定が保存されました。

メールアドレス [メール設定](#)

ドメインに紐付けられたメールアドレスを作成・管理します。各メールアドレスに対し、メールボックス、同じメールボックスに追加できるメールアドレス(メールエイリアス)数、自動応答、1つ以上のメールアドレスへのメール転送などを設定することができます。また、アンチスパムやアンチウイルスサービスを使用できる場合は、これらをセットアップすることもできます。

[メールアドレスを作成](#) | [使用量統計を更新](#) | [削除](#)

合計 2 件 ページあたりのエントリー数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

| メールアドレス | ユーザ | 使用量 |
|--|--------------------------------|------------------|
| neotest@neojapan-plesk12.co.jp <input type="checkbox"/> | neotest@neojapan-plesk12.co.jp | 無制限 中、0 B 使用 |
| postmaster@neojapan-plesk12.co.jp <input type="checkbox"/> | 管理者 | 無制限 中、4.00 KB 使用 |

■ 自動応答(自動返信)

メールの自動応答は、受信したメールが自動応答に設定されたメールアドレス宛だった場合に、自動的に返信メールを送信します。自動応答は、テキストメッセージと添付ファイルを自動送信することができます。このメール機能は、外出中やなんらかの理由でメールボックスをチェックできないユーザーに便利な機能です。自動応答の設定画面では、自動応答のための添付ファイルのアップロード機能や該当アカウントの自動応答機能の有効化機能、自動応答のリストを管理できます。

- 1) メールアドレスの一覧より自動応答を設定したいメールアドレスを押下します

| メールアドレス | ユーザ | 使用量 |
|--|--------------------------------|------------------|
| neotest@neojapan-plesk12.co.jp <input type="checkbox"/> | neotest@neojapan-plesk12.co.jp | 無制限 中、0 B 使用 |
| postmaster@neojapan-plesk12.co.jp <input type="checkbox"/> | 管理者 | 無制限 中、4.00 KB 使用 |

- 2) 自動応答タブを押下します

全般 転送 メールエイリアス **自動応答** スпамフィルタ アンチウイルス

- 3) 「自動応答を有効にする」にチェックを入れ、各項目を入力後、「OK」押下します

自分のメールアドレス宛てのすべてのメールメッセージに自動応答を設定します。自動応答とは、出張や休暇で不在であることを送信者に知らせるための一般的な機能です。

自動応答を有効にする

自動応答メールの件名 *

メッセージフォーマット
 テキスト形式
 HTML
テキスト形式は、すべてのメールクライアントプログラムでサポートされているため、メール作成者が見ている通りのメッセージがすべての受信者に表示されます。HTML メッセージは、さまざまなフォントスタイルの書式付きテキストを入力できるため、見目が良くなります。ただし、メールクライアントによっては HTML メッセージをサポートしていないため、これらのクライアントを使用している受信者には書式付きテキストが表示されない場合があります。

エンコーディング

エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。推奨されるエンコーディングは UTF-8 です。

自動応答メールのテキスト

テキスト形式のみ。HTML は許可されません。タグはすべて無視されます。

転送先

自動応答の送信時に、オリジナルメッセージは指定のメールアドレスへ転送されます。

1日に同一メールアドレスに送信する自動応答 * 回まで

添付ファイル
 選択されていません

* 必須フィールド

- 自動応答メールの件名:

自動応答に使用される「メールの件名」を指定します。単純に受信したメールと同じ件名で返信したい場合は、デフォルト設定のままにしておきます。特定の件名に限定したい場合は、必要なテキストを入力してください。

- メッセージフォーマット:

自動返信の際に使用される書式(テキスト形式/HTML 形式)を選択します。

- エンコーディング:

自動返信時の文字コード(エンコード)を指定することができます。

※通常はデフォルトの「UTF-8」をご利用ください

- 自動応答メールのテキスト:

自動応答時のメッセージを入力します。

- 転送先:

自動応答後、登録したメールアドレス宛に元のメールを転送することができます。

- 1日に同一メールアドレスに送信する自動応答:

1日で同じメールアドレス宛に何回自動送信するかの設定となります。

- 添付ファイル:

自動返信時に添付ファイルも含めることができます。

その場合、ファイルを選択ボタンよりクライアント PC 内のファイルを選択してください。

複数添付ファイルを追加する場合は「新しい添付ファイルを追加」を押下して追加してください。

■ スпамフィルター

あらかじめスパムメールのパターンを登録しておくことにより、スパムメールを受信することなく、

メールサーバ上で削除することができます。スパムメールのパターンは、メールアカウント毎に個別設定することができます。

(※注:スパムフィルターを設定したことによるメールの削除、紛失には充分ご注意ください。)

- 1) メールアドレスの一覧よりスパムフィルター設定したいメールアドレスを押下します

| <input type="checkbox"/> | メールアドレス ^ | ユーザ | 使用量 |
|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | neotest@neojapan-plek12.co.jp | neotest@neojapan-plek12.co.jp | 無制限 中、0 B 使用 |
| <input type="checkbox"/> | postmaster@neojapan-plek12.co.jp | 管理者 | 無制限 中、4.00 KB 使用 |

- 2) スパムフィルタータブを押下します



- 3) 「このメールアドレスに対してスパムフィルターを有効にする」にチェックを入れ、以下を選択後、「OK」押下します。

スパムとして分類されたメッセージに対する処理:

- ・ スパムメッセージの件名に指定テキストを追加する:
メールの件名にタグ(デフォルトは****SPAM****)を付け、メールボックスに保存されます。
- ・ スパムメッセージをすべて削除する:
メールボックスに届いた時点で自動削除されます。
※誤判定により受信すべきメールまで自動削除される可能性があります。
- ・ スパムをスパムフォルダに移動する:
IMAP プロトコル経由でメールボックスにアクセスした場合、「Spam」フォルダが表示されます。
こちらの「Spam」フォルダに自動的にスパムメールを移動します。
※POP プロトコル経由では本機能は利用できません

※スパムフィルターの感度(レベル)や、ホワイトリスト、ブラックリストの設定については、「高度な設定を表示する」を押下して以下画面を表示させます。

フィルタ感度

スパムフィルタは、各メッセージのコンテンツと件名に対して複数のテストを実施します。その結果、各メッセージには複数のポイントが累積されます。ポイントが高いほど、メッセージがスパムである可能性が高くなります。デフォルトで、スコアが 7 ポイント以上のメッセージをスパムと分類するようフィルタ感度が設定されています。現在の設定でスパムメッセージを大量に受信している場合、フィルタ値を小さくして(6)など)フィルタ感度を上げます。必要なメールまで迷惑メールとして処理されている場合、フィルタ値を大きくして(8)など)フィルタ感度を下げます。 [スパムフィルタを学習させる方法の詳細は、こちらをご覧ください。](#)

スパムフィルタの感度 *

ホワイトリスト

ホワイトリストに含まれる送信者からのメールはチェックされません。

ホワイトリスト

ドメイン名を 1 行に 1 件ずつ入力してください。アドレスにはワイルドカード(* および ?)を使用できます(例: *@domain.com, user?@*.com)。

ブラックリスト

ブラックリストに含まれる送信者からのメールはブロックされます。

ブラックリスト

ドメイン名を 1 行に 1 件ずつ入力してください。アドレスにはワイルドカード(* および ?)を使用できます(例: *@domain.com, user?@*.com)。

* 必須フィールド

- ・ **スパムフィルターの感度:**
数値が少ない程、厳しくスパム判定致します。(デフォルト7)
- ・ **ホワイトリスト:**
スパムではないメールのメールアドレスを入力します。
*@ドメイン名にすると、そのドメインからのメールはすべてクリーンと判断します。仮にブラックリストに登録されている場合でも、ユーザーにとっては必要な相手先の場合、設定しておけばメールの受信が可能です。
(例) *@yahoo.co.jp がブラックリストに登録されている場合、taro@yahoo.co.jp をホワイトリストに登録しておけば、taro@yahoo.co.jp からのメールはスパムと見なしません。
- ・ **ブラックリスト:**
スパムメールのメールアドレスを入力します。
*@ドメイン名にすると、そのドメインからのメールはすべてスパムと判断し指定された処理を行います。
(例) *@blackXXXXX.com (blackXXXXX.comドメインからのメールを全て対象にする)

■ アンチウイルス

個別のメールアカウント毎に Dr.Web アンチウイルス設定を行うことができます。

- 1) メールアドレスの一覧よりアンチウイルス設定したいメールアドレスを押下します

| <input type="checkbox"/> | メールアドレス ^ | ユーザ | 使用量 |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | neotest@neojapan-pleisk12.co.jp | neotest@neojapan-pleisk12.co.jp | 無制限 中、0 B 使用 |
| <input type="checkbox"/> | postmaster@neojapan-pleisk12.co.jp | 管理者 | 無制限 中、4.00 KB 使用 |

- 2) アンチウイルスタブを押下します



- 3) 「このメールアドレスに対してアンチウイルス防御を有効にする」にチェックを入れ、以下を選択後、「OK」押下します。

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

アンチウイルスサービスは、ウイルスを含むメールをブロックし、送信者と受信者に通知します。

このメールアドレスをアンチウイルスで保護

ウイルスチェック

受信メールのみ
 送信メールのみ
 送信メールと受信メール

* 必須フィールド

OK キャンセル

初期規定値は機能 OFF となっております。「送信メールと受信メール」でウイルスチェックを行うに手動でご変更頂くことを推奨しております。お客様企業内で別途アンチウイルス監視システムを構築されている場合、その環境に対応した個別設定を行うことが可能です。尚、検知されたウイルスメールは自動的に削除されます

第3節 ファイル

ファイルマネージャを使用してドメイン内のファイルやディレクトリを管理することができます。ファイルマネージャは、コンテンツファイルのアップロード機能をはじめ、パーミッション設定の変更や新規ファイル(フォルダ)の作成も可能となっております。

■ ファイルマネージャ機能へのアクセス

ファイルマネージャ機能にアクセスするために、「ファイル」タブを押下してください。ファイルマネージャページが開き、ディレクトリとコンテンツが表示されます。

ウェブサイトとドメイン メール **ファイル** 統計 アカウント

neojapan-plesk12.co.jp のファイルマネージャ

ルートディレクトリ

- bin
- dev
- error_docs
- etc
- httpdocs**
- lib
- lib64
- logs
- tmp
- usr
- var
- web_users

ファイルアップロード 新規 - コピー 移動 削除 その他 - 設定を変更

ルートディレクトリ > httpdocs

| 名前 ^ | 変更日 | サイズ | パーミッション | ユーザ | グループ |
|-----------------|------------------|---------|-------------|----------|---------|
| .. | 2015/07/13 17:44 | | rwx --x --- | neojapan | psaserv |
| cei-bin | 2015/07/1 18:44 | | rwx r-x --- | neojapan | psaserv |
| css | | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| img | | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| neojapantest? | | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| picture_library | | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| test | 2015/07/1 18:44 | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| testtest | 2015/07/6 18:16 | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| favicon.ico | 2015/07/1 18:44 | 4.0 KB | rw- r-- r-- | neojapan | psacln |
| index.html | 2015/07/1 18:44 | 12.0 KB | rw- r-- r-- | neojapan | psacln |
| neotest | 2015/07/6 11:39 | 0 B | rw- r-- r-- | neojapan | psacln |

※HP のコンテンツは「httpdocs」へアップロードして下さい。

■ ファイルの参照

J-MOTTO ホスティング

以下がホームページデータの転送先「httpdocs」の初期状態です。

ファイルアイコンをクリックすることで、対象ファイルの記述内容を参照できます。

例としてトップページの HTML ファイル「index.html」を参照するため、リンクを押下します。

ファイルアップロード | 新規 | コピー | 移動 | 削除 | その他 | 設定を変更

ルートディレクトリ > httpdocs

| 名前 ^ | 変更日 | サイズ | パーミッション | ユーザ | グループ |
|-------------|-----------------|---------|-------------|----------|---------|
| .. | 2015/07/1 18:44 | | rwX --X --- | neojapan | psaserv |
| cgi-bin | 2015/07/1 18:44 | | rwX r-X --- | neojapan | psaserv |
| css | 2015/07/1 18:44 | | rwX r-X r-X | neojapan | psacln |
| img | 2015/07/1 18:44 | | rwX r-X r-X | neojapan | psacln |
| test | 2015/07/1 18:44 | | rwX r-X r-X | neojapan | psacln |
| favicon.ico | 2015/07/1 18:44 | 4.0 KB | rw- r-- r-- | neojapan | psacln |
| index.html | 2015/07/1 18:44 | 12.0 KB | rw- r-- r-- | neojapan | psacln |

「index.html」のソースを参照することができます。

ファイル [neojapan-plesk12.co.jp / httpdocs / index.html](http://neojapan-plesk12.co.jp/httpdocs/index.html) の表示

オリジナルファイルを次のエンコーディングで表示:

UTF-8 | 再読み込み

警告:ファイルの再読み込みによって、未保存の変更がすべて失われます。

```
<!DOCTYPE html>
<!--[if lt IE 7 ]><html class="ie ie6 lte9 lte8 lte7" lang="en"><![endif]-->
<!--[if IE 7 ]><html class="ie ie7 lte9 lte8 lte7" lang="en"><![endif]-->
<!--[if IE 8 ]><html class="ie ie8 lte9 lte8" lang="en"><![endif]-->
<!--[if IE 9 ]><html class="ie ie9 lte9" lang="en"><![endif]-->
<!--[if gt IE 9 ]><!--><html class="" lang="en"><!--><![endif]-->
<head>
<meta name="copyright" content="Copyright 1999-2014. Parallels IP Holdings GmbH. All Rights Reserved.">
<meta charset="utf-8">
<meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge,chrome=1">
<meta http-equiv="Cache-Control" content="no-cache">
<title>Domain Default page</title>
<link rel="shortcut icon" href="favicon.ico">
<link rel="stylesheet" href="css/style.css">
</head>
<body>
<div id="page">
<div id="wrapper">
<div id="top">
<div class="header">
<div class="header-wrapper">
<a class="product-logo" href="http://www.parallels.com/products/panel/intro"></a>
<a class="company-logo" href="http://www.parallels.com"></a>
```

テキストエディタで編集 | HTML エディタで編集 | キャンセル

■ ファイルの記述内容の編集

上記で「index.html」のソースを参照した際の下部に表示された「テキストエディタで編集」及び「HTML エディタで編集」ボタンから編集が可能です。

以下のエディット画面が表示され、ファイルを直接編集することができます。
編集後に「保存」ボタンをクリックすることで、編集内容が適用されます。

※所有者やパーミッションにより、編集できないケースもあります。

【テキストエディタ画面】

オリジナルファイルを次のエンコーディングで表示:

UTF-8 再読み込み

警告:ファイルの再読み込みによって、未保存の変更がすべて失われます。

```
<!DOCTYPE html>
<!--[if lt IE 7 ]><html class="ie ie6 lte9 lte8 lte7" lang="en"><![endif]-->
<!--[if IE 7 ]><html class="ie ie7 lte9 lte8 lte7" lang="en"><![endif]-->
<!--[if IE 8 ]><html class="ie ie8 lte9 lte8" lang="en"><![endif]-->
<!--[if IE 9 ]><html class="ie ie9 lte9" lang="en"><![endif]-->
<!--[if gt IE 9]><!--><html class="" lang="en"><!--<![endif]-->
</head>
<meta name="copyright" content="Copyright 1999-2014. Parallels IP Holdings GmbH. All Rights Reserved.">
<meta charset="utf-8">
<meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge,chrome=1">
<meta http-equiv="Cache-Control" content="no-cache">
<title>Domain Default page</title>
<link rel="shortcut icon" href="favicon.ico">
<link rel="stylesheet" href="css/style.css">
</head>
<body>
  <div id="page">
    <div id="wrapper">
      <div id="top">
        <div class="header">
          <div class="header-wrapper">
            <a class="product-logo" href="http://www.parallels.com/products/panel/intro"></a>
            <a class="company-logo" href="http://www.parallels.com"></a>
          </div>
        </div>
      </div>
    </div>
  </div>
</body>
</html>
```

次のエンコーディングで保存: UTF-8

改行タイプ: Unix スタイルへの変換

リセット 保存 名前を付けて保存 OK キャンセル

【HTML エディタ画面】

オリジナルファイルを次のエンコーディングで表示:

UTF-8 再読み込み

警告:ファイルの再読み込みによって、未保存の変更がすべて失われます。



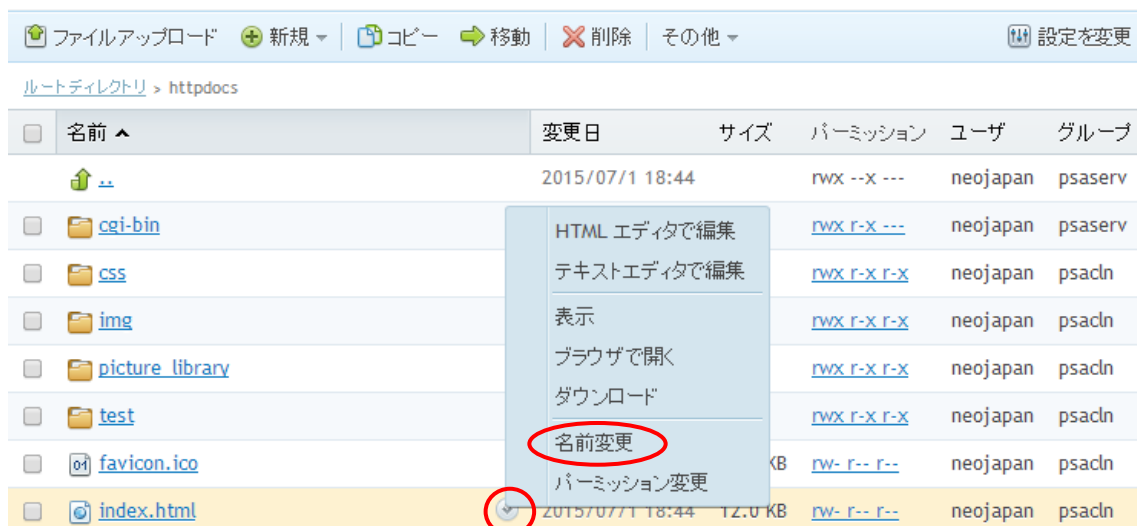
次のエンコーディングで保存: UTF-8

改行タイプ: Unix スタイルへの変換

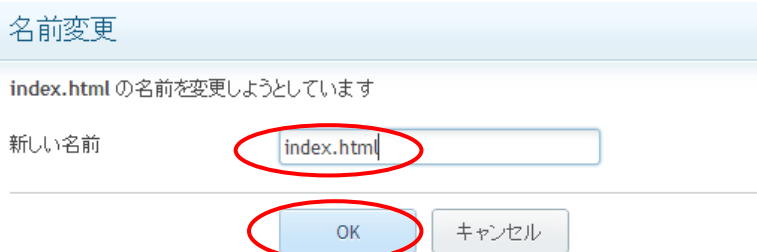
名前を付けて保存 OK キャンセル

■ ファイル名の編集

ファイル編集の際の一時退避や、リンク訂正のため、ファイル名を変更したい場合には、カーソルを以下の位置に合わせてアイコンを押下することで、メニューが表示されますので、「名前変更」からファイル名を変更できます。



「名前変更」をクリックすると以下の編集画面が表示されます。テキストエリア内のもとのファイル名を編集し、「OK」ボタンを押下すると編集内容が適用されます。

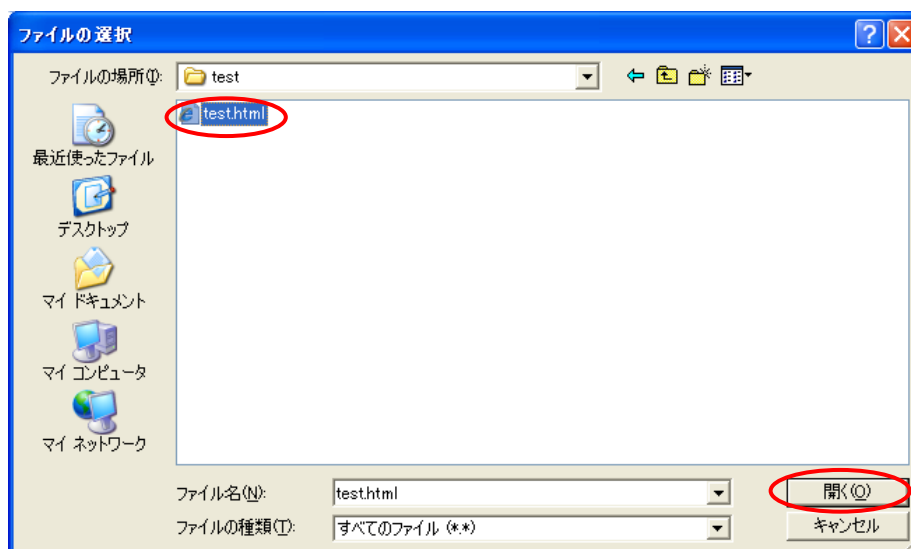


■ ファイルのアップロード

お客様の PC にあるファイルを、サーバ側にアップロードするには、画面の上部にある「ファイルアップロード」を押下します。



PC 内の対象のファイルを選択して「開く」をクリックするとアップロードが完了します。



J-MOTTO ホスティング

※アップロード可能なファイルは一度の操作で1つのみとなります。
※上書きアップロードはできません。別名ファイルでアップロード後、
ファイル名を編集するといった操作が必要です。

■ ファイルのパーミッション変更

スクリプトファイル等の実行権限(パーミッション)を変更したい場合、対象のファイルの右側にあるパーミッションリンクを押下することで、パーミッション変更が可能です。



The screenshot shows a file manager interface with a table of files and folders. The 'index.html' file is selected, and a context menu is open over it. The 'パーミッション変更' (Change Permissions) option is circled in red.

| 名前 ^ | 変更日 | サイズ | パーミッション | ユーザ | グループ |
|-----------------|-----------------|---------|-----------------------------|----------|---------|
| .. | 2015/07/1 18:44 | | rwx --x --- | neojapan | psaserv |
| cgi-bin | | | rwx r-x --- | neojapan | psaserv |
| css | | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| img | | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| picture library | | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| test | | | rwx r-x r-x | neojapan | psacln |
| favicon.ico | | KB | rw- r-- r-- | neojapan | psacln |
| index.html | 2015/07/1 18:44 | 12.0 KB | rw- r-- r-- | neojapan | psacln |

それぞれのファイル所有者に可能としたい処理(読み込み、書き込み、実行)の欄にチェックを入れ、「OK」ボタンを押下すると、ファイルの実行権限を変更することができます。

ファイル [neojapan-plesk12.co.jp / httpdocs / index.html](http://neojapan-plesk12.co.jp/httpdocs/index.html) のパーミッション変更



The screenshot shows a dialog box for changing permissions. It has a table with columns for '読み取り' (Read), '書き込み' (Write), and '実行/検索' (Execute/Search). The 'OK' button is circled in red.

| | 読み取り | 書き込み | 実行/検索 |
|------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| オーナー | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| グループ | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| その他 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

■ 新規ファイルの作成

サーバ内に新規ファイルを作成するには、アップロードの際と同様、「新規」から「新規ファイルの作成」を押下します。



The screenshot shows the file manager interface with the '新規' (New) menu open. The '新規ファイルの作成' (Create New File) option is circled in red.

ファイルを作成画面でファイル名のテキストエリアが有効になるので、ファイル名を入力し、「OK」を押下します。



ファイルを作成する

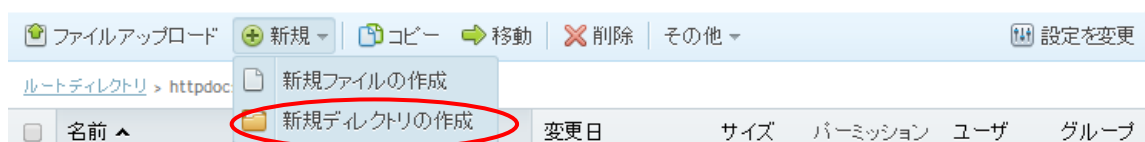
ファイルの追加先: /httpdocs

ファイル名

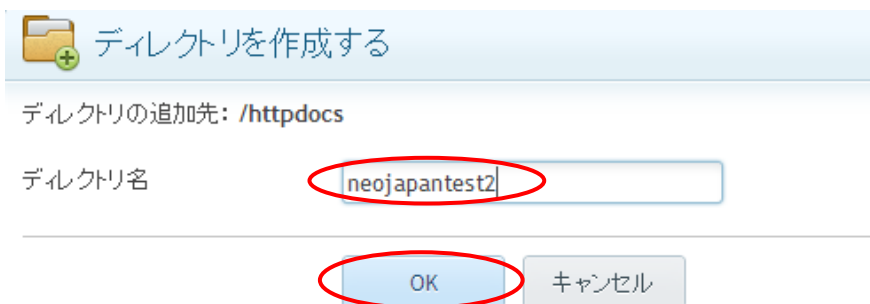
HTML テンプレートを使用
ブランク HTML ページを作成します。

■ 新規ディレクトリ(フォルダ)の作成

サーバ内に新規ディレクトリ(フォルダ)を作成するには、「ディレクトリ作成」のアイコンを押下して、ディレクトリ作成画面を表示させます。



ディレクトリ名のテキストエリアに作成したいフォルダ名を入力し、「OK」ボタンを押下して完了です。



ディレクトリを作成する

ディレクトリの追加先: /httpdocs

ディレクトリ名

第4節 統計

リソースの使用状況に関する詳細なレポートやドメイン内のサービス(FTP、HTTP、POP3/IMAP、SMTP 等)のトラフィックデータ転送量を確認する管理画面となります。

ウェブサイトとドメイン
メール
ファイル
統計
アカウント

neojapan-plesk12.co.jp の統計

契約で提供しているリソースの使用状況に関する詳細なレポートを表示します。サービスプランの契約がある場合、ページ右上隅で必要な契約を選択すると、それぞれの契約についてのレポートを参照できます。

ディスクスペース 2 GB

0.8 MB (0%) 2047.2 MB

サービスによる使用量:



- ウェブ 428 KB
- データベース 8.00 KB
- バックアップ 17.3 KB
- 構成ファイル 8.00 KB
- メール 80.0 KB
- ログ 232 KB
- Chroot ディレクトリ 24.0 KB
- 匿名 FTP ディレクトリ 0 B

トラフィック 無制限

0.3 MB/月

サービスによる使用量:



- FTP 0 B
- POP3/IMAP 0 B
- 匿名 FTP ディレクトリ 0 B
- HTTP 350 KB
- SMTP 0 B

より詳しい情報を確認するには:

FTP 統計

FTP 経由でサイトに転送された/サイトから転送したデータ量に関する詳細なレポートを表示します。

データ転送統計

ウェブサイト (HTTP、FTP) またはメール (SMTP、POP3/IMAP) によるトラフィックの使用量に関する月次レポートを表示します。

ウェブ統計

サイト訪問者および訪問者が参照したウェブページについて、ウェブサイト訪問情報を表示します。


■ ディスクスペース

サービス契約のディスク容量の内訳を確認できます。

ディスクスペース 2 GB

0.8 MB (0%) 2047.2 MB

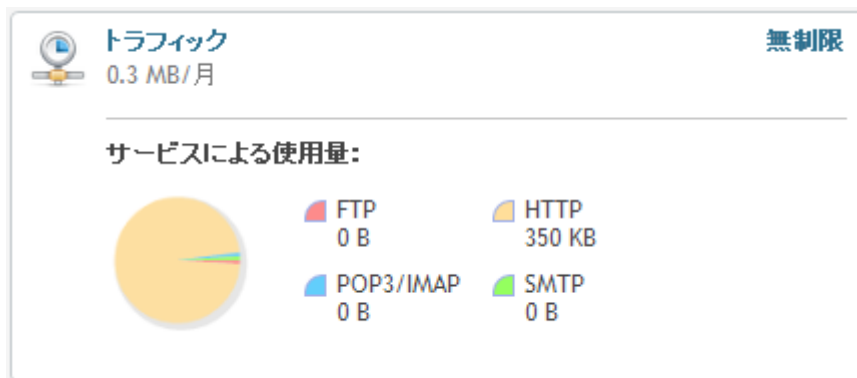
サービスによる使用量:



- ウェブ 428 KB
- データベース 8.00 KB
- バックアップ 17.3 KB
- 構成ファイル 8.00 KB
- メール 80.0 KB
- ログ 232 KB
- Chroot ディレクトリ 24.0 KB
- 匿名 FTP ディレクトリ 0 B

■ トラフィック

当月のトラフィック量を確認できます。

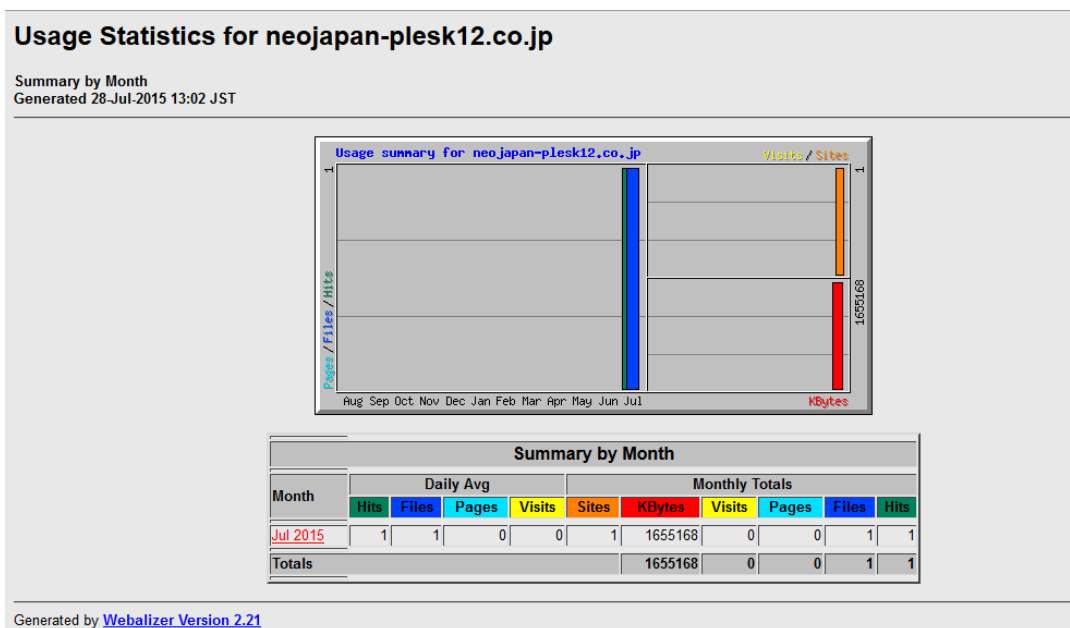


■ FTP 統計

- 1) FTP のトラフィックを確認する場合、「FTP 統計」を押下します。

FTP 統計
 FTP 経由でサイトに転送された/サイトから転送したデータ量に関する詳細なレポートを表示します。

- 2) 「webalizer」画面にて FTP 統計を確認できます。



■ データ転送統計

- 1) データ転送の詳細を確認する場合、「データ転送統計」を押下します。

データ転送統計
 ウェブサイト(HTTP、FTP)またはメール(SMTP、POP3/IMAP)によるトラフィックの使用量に関する月次レポートを表示します。

- 2) 次画面より各サービスの値を確認してください。

サービスのデータ転送統計

7月 2015 (350.44 KB)

名前

合計 サービス:4 ページあたりのエントリ数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

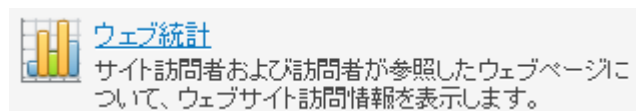
| 契約全体での統計 | 使用 | 制限 | 有効 | 使用 (%) |
|------------------------|---------|---------|---------|-------------|
| neojapan-plesk12.co.jp | 0.34 MB | 無制限 | - | - |
| サービス ^ | 使用 | In | Out | 全体に占める割合(%) |
| FTP | 0.00 MB | 0.00 MB | 0.00 MB | 0% |
| HTTP | 0.34 MB | 0.00 MB | 0.34 MB | 100% |
| POP3/IMAP | 0.00 MB | 0.00 MB | 0.00 MB | 0% |
| SMTP | 0.00 MB | 0.00 MB | 0.00 MB | 0% |

合計 サービス:4 ページあたりのエントリ数: [10](#) [25](#) [100](#) [すべて](#)

■ ウェブ統計

Web サーバのログ分析の結果を確認できます。

※P.22【第7章 第6項 ウェブ統計】でご案内致しております



第5節 アカウント

ドメイン管理者のログイン情報変更、バックアップ設定等を行う管理画面となります。

ウェブサイトとドメイン メール ファイル 統計 **アカウント**

neojapan-plesk12.co.jp のアカウント情報とツール

リソース割り当て、ホスティングオプション、および契約条件に従って Plesk で実行できる操作の権限に関する詳細です。

プラン名 ApplitusValueプラン
 セットアップ日 2015/07/1
 ステータス アクティブ

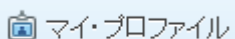
下のタブをクリックすると、リソース割り当て、ホスティングオプション、および契約条件に従って Plesk で実行できる操作の権限が表示されます。

リソース **ホスティングオプション** パーミッション

利用超過ポリシー ディスク容量とトラフィックの利用超過を許可する
 ご利用の契約に対するリソース使用量の概要です

ディスクスペース 2 GB 中、0.8 MB 使用
 トラフィック 無制限 中、0.3 MB/月 使用
 ドメイン 1 中、1 使用
 メールボックス 無制限 中、2 使用
 メールボックスサイズ 無制限
 データベース 1 中、1 使用

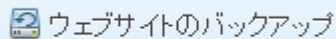
■ マイ・プロフィール



ドメイン管理者のログインパスワード変更画面となります。

※P.14 第2節 ドメイン管理者パスワードの変更の方法 をご参照ください

■ ウェブサイトのバックアップ



バックアップ設定画面になります。

※P.28 第11項 バックアップマネージャ(バックアップ)をご参照ください

第8章 各種ソフトウェアの設定例

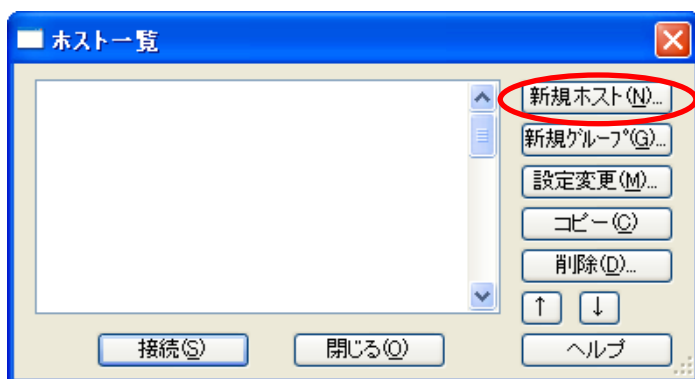
第1節 FTP ソフトの設定例 (Windows 編)

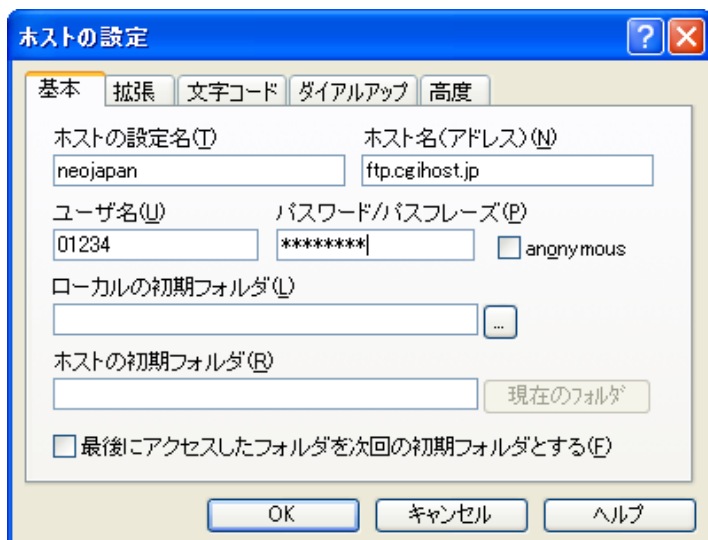
■ FFFTP を使用した場合

FFFTP のダウンロード先<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html> (変更になっている場合があります。)

【手順】

- ① 「新規ホスト」を押下してください。
「ホストの設定」画面が表示されます。

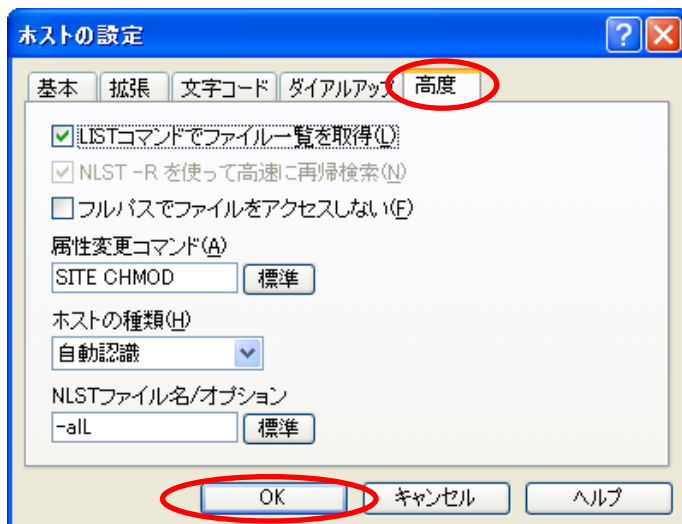




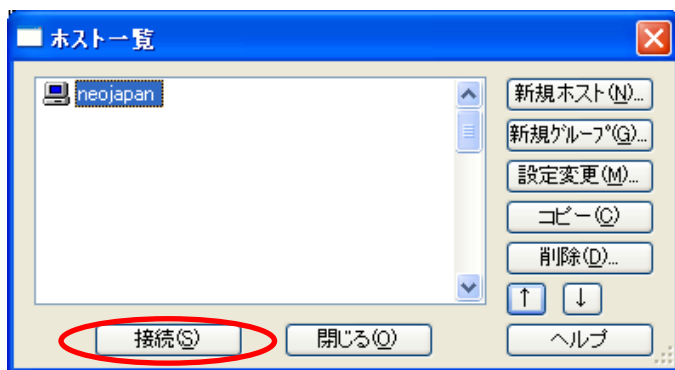
② 基本タブへ以下の項目を入力してください。

| 入力項目 | |
|---------------------|-------------------|
| (本書 P8 第4章をご参照ください) | |
| ホストの設定名 | :任意に命名下さい。 |
| ホスト名(アドレス) | :FTP ホスト名(アドレス) |
| ※移設の方 | :FTP 先サーバ IP アドレス |
| ユーザ名 | :FTP ID(ユーザー名) |
| パスワード/パスフレーズ | :FTP パスワード |
| ローカルの初期フォルダ | :無記入 |
| ホストの初期フォルダ | :無記入 |

③ 「高度」タブを押下して、下記の通りチェックボックスにチェックを入れます。



④ 入力後「OK」ボタンを押下して、「ホスト」名を選択し、接続ください。



【Web コンテンツの転送先について】

ログイン後に表示される「**httpdocs** 」というサブディレクトリの中にお客様の Web コンテンツを転送します。

サーバへログインすると、以下のようなフォルダが表示されます。

error_docs

httpdocs

logs

サブドメインディレクトリ(サブドメインをご利用の場合)

この **httpdocs** の中に、Web コンテンツである HTML ファイル、画像ファイル等を設置します。**CGI スクリプトは httpdocs/cgi-bin フォルダに設置します**。httpdocs フォルダの外に設置された場合はファイルが表示されませんのでご注意ください。※SSL を使用したいコンテンツも **httpdocs** に設定してください
尚、CGI(SS)スクリプトの転送の注意点については、後述「CGI ご利用の際の注意点」をご覧ください。

ご注意！！

お客様ご使用の FTP ソフトの使い方に関しましては、ソフトのマニュアルをご参照ください。また、ご不明な点がございましたらサポートセンター（0120-70-4515 平日 9:00~18:00）までお問い合わせください。

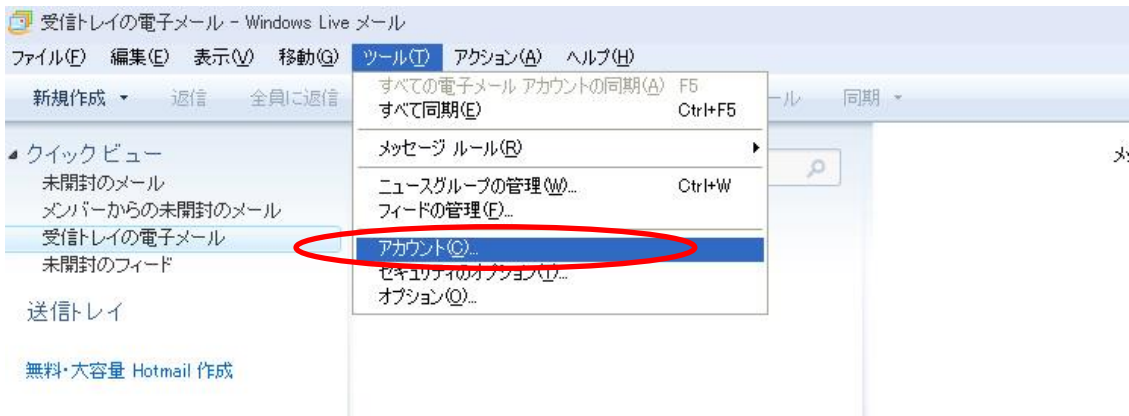
ご注意！！

弊社のサービスにつきましては、セキュリティの関係からお客様ドメインに対してアクセスいただいた場合、該当するファイルが無い場合はディレクトリ内にありますファイルを見えない形式にてあります。直接“http://www.お客様ドメイン名”のみでトップページを表示したい場合は、トップページのファイル名を index.html としてください。

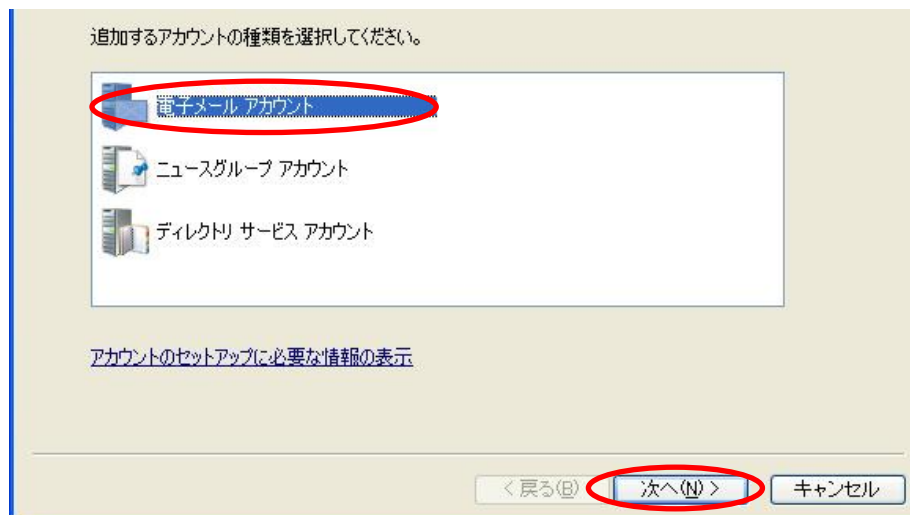
第2節 メールソフトの設定例(Windows、Mac)

第1項 Windows Live メールを利用した場合

- ① Windows Live メールを起動し、メニューバーの「ツール」から「アカウント」を選択してください。



- ② 「追加」ボタンをクリックし、サブメニューから「電子メールアカウント」を選択して「次へ」を押下してください。



- ③ 電子メール アカウント情報登録画面になります。
④ 以下情報をご入力して「次へ」を押下してください。

電子メール アカウントを追加する

電子メール アカウント情報を以下に入力してください。

電子メール アドレス(E): postmasterp@neojapan.com
 例: example555@hotmail.com [無料・大容量 Hotmail作成](#)

パスワード(P): *****
 パスワードを保存する(R)

このアカウントから送信されたメールに差出人として表示する名前を入力してください(H)

表示名(N): ネオ太郎
 例: Taro Chofu

電子メール アカウントのサーバ設定を手動で構成する(O)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ・ 電子メールアドレス:
電子メールアドレスもしくはメールアドレスのエイリアス名(アドレス)を入力して下さい。
- ・ パスワード:
メールのパスワードを入力してください。
※「メール」機能にてアカウント設定時に登録したパスワードを入力します
- ・ 表示名:
任意のお名前(お客様のお名前等)を入力してください。
- ・ 電子メールアカウントのサーバ構成を手動で構成する:
チェックを入れてください。

- ⑤ 「電子メールサーバーの情報について」画面が表示されます。
 以下情報をご入力して「次へ」を押下してください。

電子メール アカウントを追加する

[電子メール サーバーの情報について](#)

受信サーバー情報

受信メール サーバーの種類(M) POP3

受信サーバー(Q): mail.neojapan.com ポート(P): 110

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(L)

ログインに使用する認証(U): クリア テキスト認証

ログイン ID (電子メール アドレスと異なる場合)(L): postmaster

送信サーバー情報

送信サーバー(Q): mail.neojapan.com ポート(R): 587

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q)

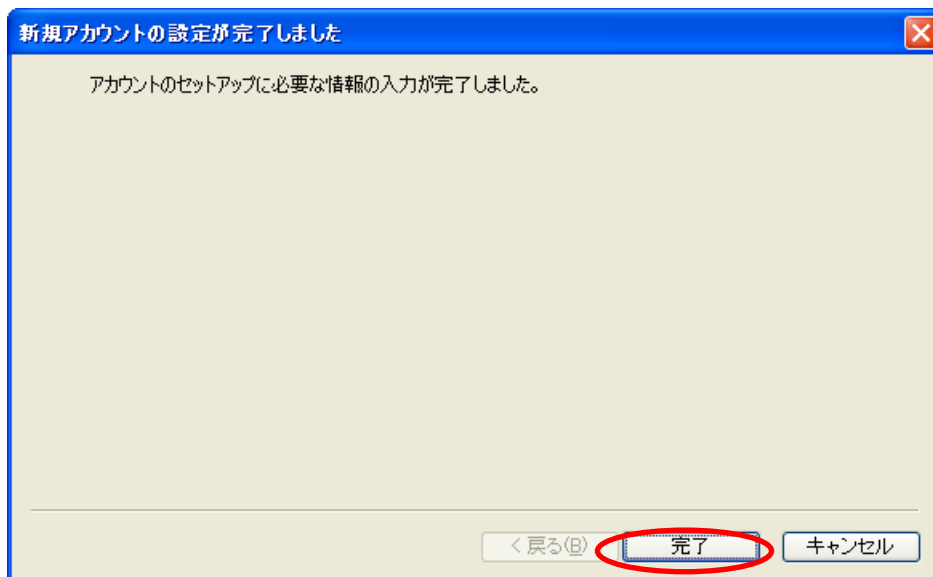
送信サーバーは認証が必要(U)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ・ 受信メールサーバーの種類:
「POP3」を選択してください。
- ・ 受信メールサーバー:

- 「mail.お客様ドメイン名」を入力してください。
- ・ ポート番号:
「110」を選択してください。
- ・ 送信サーバー:
「mail.お客様ドメイン名」を入力してください。
- ・ ポート:
「587」を入力してください。
- ・ 送信サーバは認証が必要:
チェックを入れてください。

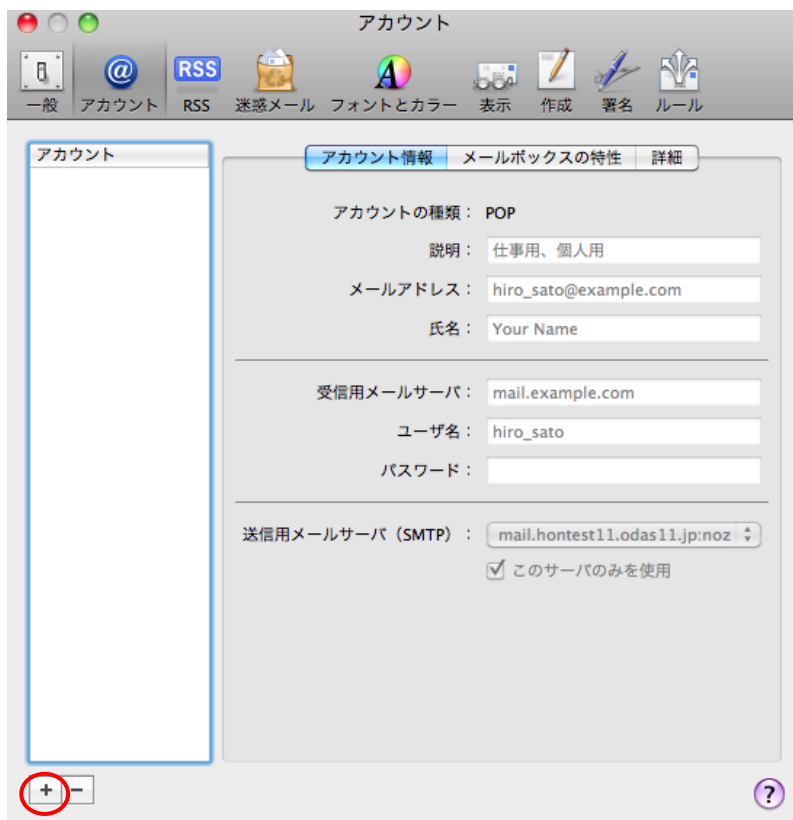
⑥ 「設定完了」画面が表示されます。



- ⑦ 「完了」ボタンをクリックしてください。
以上で設定は完了です。

第2項 Mac Mail を利用した場合

- ① 「ツール」から「アカウント設定」を開きます。「+」ボタンを押下します。



- ② 次の画面に「氏名」「メールアドレス」「パスワード」を入力して「続ける」を押下します。



- ③ 次の画面の「受信メールサーバ」を入力後、「ユーザー名(@マークより前)」「パスワード」を入力されていることを確認して「続ける」を押下します。



- ④ [証明書を検証]画面が表示された場合は、そのまま「接続」を押下します。



- ⑤ 次の画面の「送信メールサーバ」を入力して、「認証を使用」のチェックを入れ、「ユーザー名(@マークより前)」「パスワード」が入力されていることを確認して「続ける」を押下します。



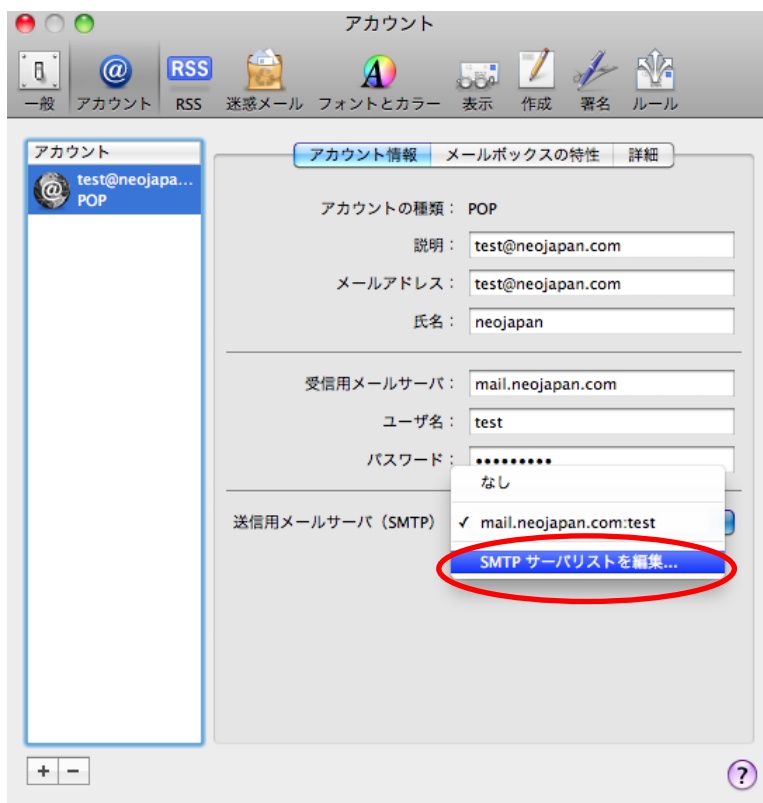
- ⑥ [証明書を検証]画面が表示された場合は、そのまま「接続」を押下します。



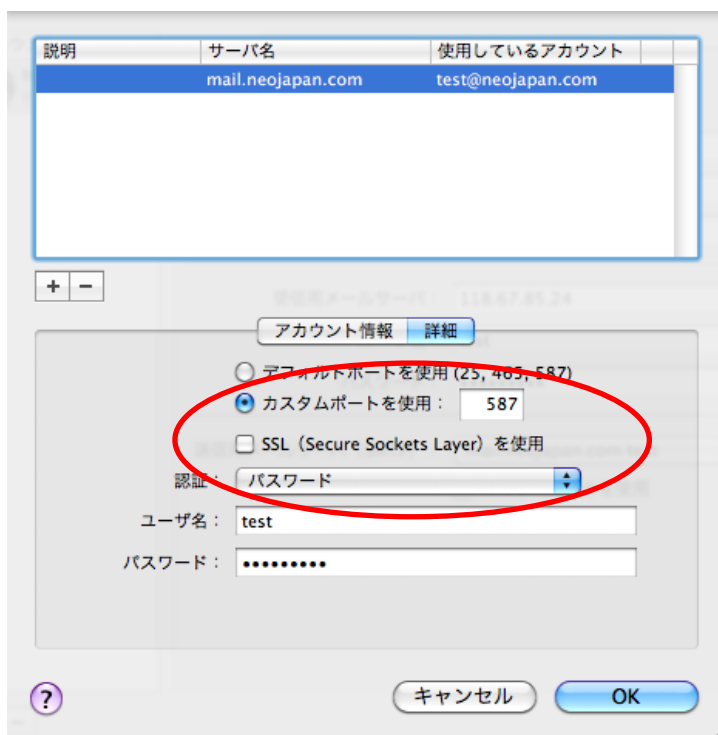
- ⑦ 次の画面で[アカウントをオンラインにする]のチェックが入っていることを確認して「作成」を押下します。



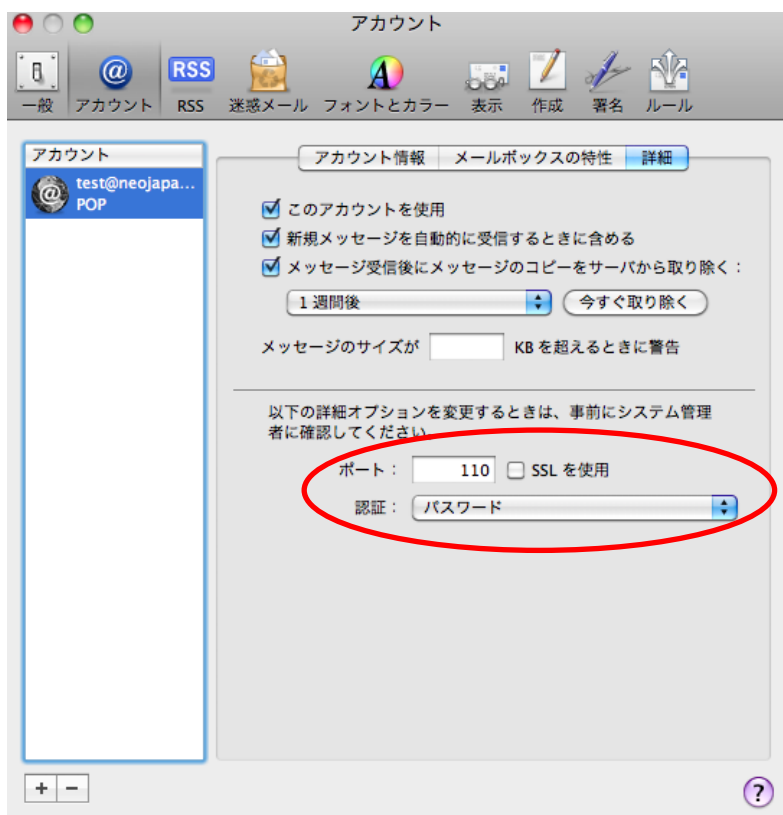
- ⑧ [送信用メールサーバ(SMTP)]のプルダウンメニューより「SMTP サーバリストを編集」を押下します。



- ⑨ 次の画面の[詳細]タブを開き、[カスタムポートを使用]に「587」を入力して、[SSL を使用]のチェックが外れていることを確認後、[認証]は「パスワード」を選択して「OK」押下します。



- ⑩ [アカウント]の画面へ戻り、[詳細]ボタンをクリックします。[ポート]に「110」を入力して、[SSL を使用]のチェックを外します。[認証]は「パスワード」を選択してください。



以上でアカウント設定は完了となります。

第9章 各種ソフトウェアの設定例に関する追加項目

弊社「登録完了通知」と照らし合わせてご確認ください。* P8 をご参照ください。

ご注意！！

弊社のサービスでは、SPAM（スパム）メール等による送信メールサーバの不正利用を防止するため、送信メールサーバご利用の際には必ず「SMTP 認証」の設定が必要となります。

* SMTP認証について

SMTP認証とは、メールを送信する際に、送信(SMTP)サーバと事前に認証を行う仕組みのことをいいます。

PLESK では、SMTP 認証の LOGIN、CRAM-MD5、PLAIN の3つの方法をサポートしています。

この認証により、送信側の特定を行うことが出来、J-MOTTO ホスティングサーバのネットワーク以外からのメール配信の他、発信元を偽ってのSPAM(スパム)メールの発信を防ぐことができます。急増しているSPAM(スパム)メールなどの被害を防ぐため、同様にお客様メールアカウントの不正利用の防止を目的とした一手段となります。

お客様の作業としましては、メールソフトのサーバ認証機能を設定いただくのみとなります。

例) WindowsLive メールの場合は P.56 メールソフトの設定例項番⑤の設定を実行ください。(クリアテキスト認証)

第10章 SPAM（スパム）対策に関する注意事項

弊社「PLESK」はSPAM（スパム）メールによる被害をくい止めるため、SPAM（スパム）フィルターを採用しております。SPAM（スパム）フィルター機能はお客様側では特に意識することなく、お使いいただくことができますが、下記の通りご注意ください点がいくつかございます。

(1)お客様ご自身がSPAM（スパム）の発信元としてブラックリストに載らない様に、メールの利用には十分ご注意ください。

・詳細は、P64「**第2節. ブラックリストとは？**」をご参照ください。

(2)万が一ブラックリストに載ってしまった場合、メールの受信はできても送信ができないという現象が現れます。

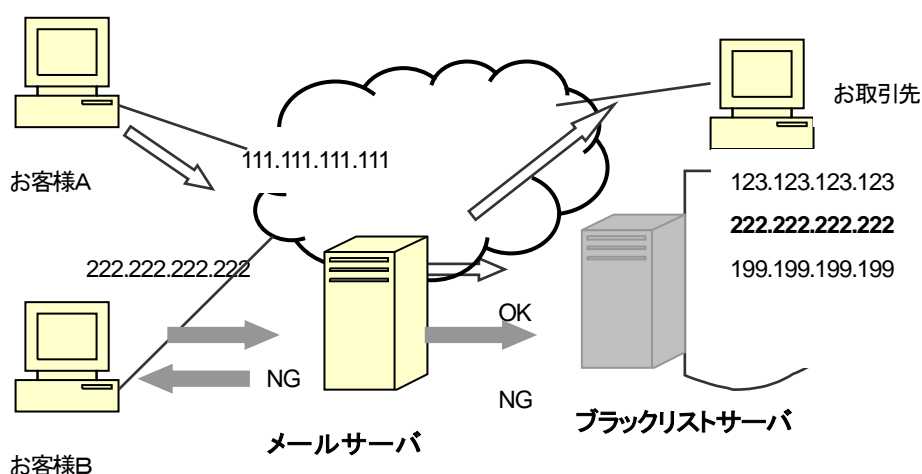
・「**第3節. ブラックリストに載ってしまったら？**」をご参照いただき、必要な対策を実施ください。

* SPAM（スパム）メールとは

SPAM（スパム）メールとは、電子メールを利用して大量かつ無差別に送られる勧誘・広告メールなどの迷惑メールのことをいいます。また、チェーンメールやウイルス情報メールなどの攻撃メールもSPAM（スパム）メールに含まれます。

これらSPAM（スパム）メールは一度に大量のメールを配信しますので、メールサーバに極端に負荷がかかり、インターネットに繋がりにくくなってしまいます。殆どのホスティング会社では、このような悪質なSPAM（スパム）メール被害を防ぐ為、POP before SMTPの認証方式を採用しております。また、SPAM フィルターを登載し、SPAM（スパム）メールの攻撃をできる限り防ぐシステムとなっております。

第1節 SPAM（スパム）フィルターとは？



メールサーバは、メール送信の要求を受けた際に、IPアドレスをブラックリストサーバに照会します。ブラックリストに載っていない場合、問題なく送信できます。（お客様Aからお取引先へのメール）ブラックリストに載っていた場合、送信エラーとなり、メールを送信することができません。（お客様B）

第2節 ブラックリストとは？

SPAM(スパム)ブラックリストは常にアップデートされ、下記の様な場合、SPAM(スパム)発信元として発信元の IP アドレスをブラックリストに追加します。尚、お客様ご自身では該当する覚えがなくとも、同じ IP アドレスを過去に使用していたユーザーが、引き起こしていた可能性があります。

- (1) 不特定多数のアドレスにメールを送信し、多くのメールが宛先不明エラーで帰ってくる。
- (2) ウィルスにかかり、知らない間に(1)の現象が起きている。

ブラックリストに掲載されてしまうと、メールの受信はできるが送信はできないという現象が現れます。

下記の様な場合、SPAM(スパム)ブラックリストに掲載された可能性を疑ってください。

- (1) メールクライアントソフトの設定は一切変更していないのに、急にメールの送信ができなくなった。
- (2) 社内の他のクライアントも同じ現象が出ている。
- (3) ウィルスに罹った可能性がある。
- (4) SMTP エラー(コード 451)等のエラーメールが帰ってくる。

第3節 ブラックリストに載ってしまったら？

上記の様な現象が現れた場合、下記対策を実施ください。

- (1) インターネットとの接続でプロバイダからその都度 IP アドレスが割り当てられるサービスをご利用の場合、ルータの電源を OFF にし、20分から30分待ってから ON にして再度試してみてください。
- (2) 上記でも改善されない場合、ご契約いただいているプロバイダに相談いただき、別の IP アドレスを取得してください。
- (3) さらに上記でも改善されない場合、及び、プロバイダから固定でグローバル IP アドレスを取得している場合は、下記情報を当社サポートセンターまでお知らせください。当方よりブラックリストからはずしてもらう様に依頼します。

送信が出来なかった際にメールサーバから帰ってくるエラーメッセージ(転送でも、スクリーンショットでも可)。

お客様がインターネットとの接続に使っているグローバル IP アドレス。

お客様のドメイン名

該当ブラックリストサーバ名

エラーメッセージ例(OutlookExpress の場合)

```
SMTP がエラーを返しました。アカウント : '*****', サーバー : *****.com', プロトコル :  
SMTP, サーバーの応答 : 'rblsmtpd: 222.222.222.222 rid 1  
0186: 451 http://dsbl.org/listing?222.222.222.222', ポート : 25, セキュリティ  
(SSL) : なし,  
エラー番号 : 0x800CCC6)
```

ブラックリストサーバ名

ブラックリストに載ってしまった
IP アドレス

第 1 1 章 お客様独自 CGI 及び PHP スクリプトの設置について

第1節 サーバ環境

本サービスは、お客様が独自にご用意の perl による CGI スクリプト・PHP スクリプトが利用可能なサーバ環境を提供しております。本サービスのサーバ環境は、以下通りとなっております。

[ハードウェア]

インテル・アーキテクチャ サーバ

[ソフトウェア]

OS : CentOS Ver.6.X
Web サーバ : Apache 2.2.15
FTP サーバ : ProFTPD
データベース : MySQL 5.1.73

[お客様用ディスク容量]

お客様のご利用可能なディスク容量は、ホスティング契約内(基本契約は 2GB)であれば、自由にご利用になれます。なお、メールサーバ、Web サーバ(独自 CGI、PHP スクリプト設置環境を含む)は同一環境で動いております。お客様ホスティング容量の追加変更は 500MB 単位で申し受けております。詳しくはサポートセンター(0120-70-4515)までお問い合わせ下さい。

第2節 コンテンツの転送方法

お客様独自 CGI は、契約内のホスティングサーバ領域をお使いいただきます。
CGI スクリプトの準備ができたら、このサーバ領域にアップロードを行ってください。
お客様への「PLESK 登録完了通知書」に記されている、管理者 ID とパスワードでログインをして下さい。

ログイン後に表示される「**httpdocs**」というサブディレクトリの中にお客様のコンテンツを転送します。
※SSL を使用したいコンテンツも「**httpdocs**」へアップロードしてください
サーバへログインすると、以下のようなフォルダが表示されます。

- error_docs
- httpdocs
- logs
- サブドメインディレクトリ(サブドメインのご利用がある場合)

この **httpdocs** の中に、Web コンテンツである HTML ファイル、画像ファイル等を設置します。**CGI スクリプトは httpdocs/cgi-bin フォルダに設置します。**
尚、CGI(SSI)スクリプトの転送の注意点については、後述「CGI ご利用の際の注意点」をご覧ください。

第3節 CGI スクリプトのご利用について

本サービスでの CGI スクリプトの利用環境は以下のようになっております。

[対応言語]

本サービスでは下記の3種類の言語のみに対応しております。

- ・Perl/Bourne
- ・Shell/C
- ・Shell

Perl のバージョンは Perl5.8.8 となっております。

標準で付属するモジュールも使用可能です(標準モジュールについては章末に記載)。また、その他別途モジュールが必要な場合は、お客様の領域内に設置していただければご利用は可能です。その場合はお客様の責任の上でご利用をお願い致します。※通常の CPAN から提供される perl モジュールのインストール(make などが必要)に関しましては、お客様側でのサーバへのインストールは行えませんのでご注意ください。

尚、上記以外の言語(C 言語等)はご利用いただけません事をご了承ください。

それぞれの言語を使用するのに必要なパスは以下の通りです。

| | |
|-----------------|---------------|
| Perl(ver.5.8.8) | /usr/bin/perl |
| Bourne Shell | /bin/sh |
| C Shell | /bin/csh |

CGI スクリプトで Perl をご利用になる場合は、スクリプトの 1 行目に

```
#!/usr/bin/perl
```

と記述する必要があります。

[その他のコマンドへのパス]

(1) メール送信プログラム(sendmail)へのパス

```
/usr/sbin/sendmail
```

(3) ディレクトリ内のファイルリスト取得コマンド(ls)へのパス

```
/bin/ls
```

(4) 日付取得コマンド(date)へのパス

```
/bin/date
```

(5) 文字列マッチ処理コマンド(awk)へのパス

```
/bin/awk
```

[CGI ご利用の際の注意点]

- (1) 本サービスのサーバでは、suEXEC という仕組みを用いて CGI を動作させております。
この為、スクリプト及びディレクトリの書き込み権限が所有者以外に設定されていると、
CGI スクリプトが正常に動作致しませんので、以下のように設定することをお勧めします。

| | |
|-----------------|-----------------|
| 実行する CGI スクリプト | rwx r-x r-x 755 |
| CGI を配置するディレクトリ | rwx r-x --- 750 |
| データ用ファイル | rw----- 600 |

また、本サービスではお客様の telnet 利用ができませんので、権限設定に関しては FTP ソフトウェアの機能か、コントロールパネルのファイルマネージャを利用して行ってください。

- (2) CGI スクリプト(テキストファイル)の転送の際は、アスキーモードで転送を行ってください。
バイナリーモードで転送した場合、改行コードの問題により CGI スクリプトが正常に動作しない
可能性があります。

- (3) アクセスログ・エラーログはコントロールパネルのログマネージャより確認できます。

【ご注意！！】

尚、ご用意された CGI スクリプトのマニュアルによっては、データ用のファイルやディレクトリに対して、アクセス権限を 777(rwx rwx rwx)や 666(rw- rw- rw-)に設定することを指定している場合がありますが、これは第三者に対してファイルのアクセス権を付与している形となりますので、お客様独自 CGI として絶対にご利用なさらないようご注意ください。

[お客様独自 CGI サーバ 標準モジュール一覧]

| | | | |
|----------------------|----------------|----------------|----------------|
| Config.pm | attrs.pm | Exporter.pm | diagnostics.pm |
| DynaLoader.pm | ops.pm | Fatal.pm | fields.pm |
| Errno.pm | re.pm | FileCache.pm | integer.pm |
| Fcntl.pm | AnyDBM_File.pm | FileHandle.pm | less.pm |
| GDBM_File.pm | AutoLoader.pm | FindBin.pm | lib.pm |
| IO.pm | AutoSplit.pm | SelectSaver.pm | locale.pm |
| NDBM_File.pm | Benchmark.pm | SelfLoader.pm | look.pl |
| O.pm | CGI.pm | Shell.pm | newgetopt.pl |
| ODB_File.pm | CPAN.pm | Symbol.pm | open2.pl |
| Opcod.pm | Carp.pm | Test.pm | open3.pl |
| POSIX.pm | Cwd.pm | UNIVERSAL.pm | overload.pm |
| POSIX.pod | DirHandle.pm | autouse.pm | sigtrap.pm |
| SDBM_File.pm | Dumpvalue.pm | base.pm | strict.pm |
| Safe.pm | English.pm | blib.pm | subs.pm |
| Socket.pm | Env.pm | constant.pm | vars.pm |

第4節 PHP スクリプトの利用について

PLESK では、PHP スクリプト言語をサポートしています。

ご自分のパソコンで作成した PHP スクリプトを ftp でサーバへ転送するか、コントロールパネルのファイルマネージャ機能を使用して作成してください。

PHP スクリプトは html ドキュメントと同じように、httpdocs 内に設置します。

PHP スクリプトに実行許可は必要ありません。

WEB サーバで PHP スクリプトを実行するためには、「.php」という拡張子を付ける必要があります。

PHPのバージョンはPHP5.3.3となっております。

PHP 5.3.3 (cli) (built: Oct 30 2014 20:12:53)

Copyright (c) 1997-2010 The PHP Group

Zend Engine v2.3.0, Copyright (c) 1998-2010 Zend Technologies

with the ionCube PHP Loader v4.6.0, Copyright (c) 2002-2014, by ionCube Ltd.

第 1 2 章 ".htaccess"を用いた設定変更

お客様は、必要に応じて".htaccess"というテキストファイルを作成することで、以下のようなサーバ設定の変更が可能になります。

[デフォルトドキュメントの変更]

ユーザーがURLをディレクトリ名までしか入力しなかった場合に、初期設定状態では、index.htmlを表示しようとします。これを変更するためには、".htaccess"ファイルに以下のような記述を行います

DirectoryIndex [指定するファイル名]

例] DirectoryIndex top.html

上記の設定を行う事により、[index.html]ではなく[top.html]が表示されるようになります。

[アクセス元によるアクセス制限]

".htaccess"ファイルを用いて特定のホスト(IP、ドメイン)からのアクセスを制御することができます。

特定のホストからのアクセスを拒否する場合は、

```
<Limit POST GET>
```

```
order allow,deny
```

```
allow from all
```

```
deny from xxxx.yyyy.com (ホスト名、IP、ドメイン名を指定)
```

```
</Limit>
```

特定のホストからのみアクセスを許可する場合は

```
<Limit POST GET>
```

```
order deny,allow
```

```
deny from all
```

```
allow from xxxx.yyyy.com(ホスト名、IP、ドメイン名を指定)
```

```
</Limit>
```

また、ユーザー認証に関する設定が必要な場合は、コントロールパネルの「ディレクトリ」から行うことができます。

[MIME タイプの追加]

Content の種類を追加したい場合には、".htaccess"ファイルに以下のような記述を行うことで有効になります。

AddType (Content の種類) (拡張子)

[cgi-bin 以下で html ファイル等を表示させる]

下記のような設定を.htaccess に記述し、cgi-bin フォルダに設置することで、cgi-bin フォルダ内に設置したhtml ファイル等がブラウザから閲覧可能になります。

AddHandler text/html .html .htm .txt .css

第 13 章 スクリプト設置に関する注意事項

本サービスを利用するにあたり、以下の事柄についてご注意をお願い致します。

[本サービス利用の制限及び停止]

以下の実行に関しては、高負荷もしくはセキュリティ的問題の原因となる可能性がありますので、当該スクリプトを発見した場合には本サービスの停止を致します。

- 任意のコマンドを実行できる CGI(SSI)
- 1 回の実行時間が通常時で処理に 10 秒以上かかる CGI
- 1 回の実行で、5 個以上のプロセスを生成する CGI
- 1 秒間に 3 回以上呼ばれることがあるような CGI(チャット CGI など)

第14章 おかしいな? と思ったら (Q&A)

「J-MOTTO ホスティングサーバ」ご利用にあたり、よくお受けする質問をまとめました。「おかしいな?」と思ったら、まずは下記FAQをご参照ください。尚、下記内容は適宜アップデート致します。

第1節 管理画面について

- 【Q1】 J-MOTTO ホスティングサーバにログインしようとする時「ログイン情報が正しくありません。」というエラーメッセージが表示され、ログインすることができません。
- 【A1】 ブラウザのお気に入りに登録されている PLESK のリンクを右クリックし、プロパティを選択してください。Webドキュメントタグの URL 欄にて「http://cp.odas.jp/host2.j-motto.biz/」以降に文字列が挿入されているかどうかをご確認ください。入力されている場合は、削除していただけますようお願いいたします。また、Cookie の削除とキャッシュの削除も合わせて実施してください。
- 【Q2】 URL を正しく入力しても管理画面が表示されません。
- 【A2】 お客様の環境が下記の場合、管理者ログイン画面に接続できない場合があります。ファイアウォールやプロキシサーバ経由でインターネットに接続されている場合は、直接インターネットに接続できる環境から接続いただくか、ファイアウォールやプロキシサーバの設定をポート8443が通る様に変更する必要があります。
- 【Q3】 IE9 から接続するとアイコン画像が正常に表示されません。
- 【A3】 IE9 の「互換表示モード」に切り替えてお試しください。

第2節 メールについて

【Q1】 メールを送受信を行うことができません。

【A1】 まずはメールを送受信できないのが、特定のユーザー様だけなのか、全てのユーザー様なのかをご確認ください。

＜全てのユーザー様においてメールの送受信が行えない場合＞

お客様のネットワーク環境からインターネットに接続できるかをご確認ください。インターネットに接続できない場合は、ネットワーク機器に不具合が発生している可能性がございますので、そちらをご確認ください。インターネットに接続できる場合は、PLESK 上でメールボックスが有効になっているかどうかをご確認ください。有効になっていてメールの送受信が行えない場合は、メールソフトの設定の受信メールサーバと送信メールサーバをサーバ名ではなく、IP アドレスで入力してメールの送受信が行えるかどうかをご確認ください。

＜特定のユーザー様だけの場合＞

ユーザー様をご利用されている PC からインターネットに接続できるかをご確認いただくとともに、マニュアルの P55～のメールソフトの設定例を参考にしてメールソフトの設定内容をご確認ください。インターネットに接続できない場合は、PC のネットワークの設定および、ネットワーク機器の不具合の有無をご確認ください。

【注意】

上記で記載させて頂いた以外にもセキュリティ対策ソフトによってメールの送受信が行えなくなるというケースもございます。セキュリティ対策ソフトを導入されている場合は、マニュアル及びメーカー様にもご確認いただけますようお願いいたします。

【Q2】 容量の大きいメールを送信することができません。

【A2】 Plesk から一度に送信できるメールの容量は 15MB となっております。送信したメールのサイズをご確認いただき、15MB を超えている場合は、ファイルをいくつか分割する、もしくは、ファイルを圧縮することでファイルサイズを減らして頂き、一度に送信するメールの容量を減らして頂けますようお願い致します。また、15MB を超えていない場合、送信先のメールサーバの一度に受信できるメール容量を超えている可能性が考えられます。

【Q3】 メールを受信することができません。

【A3】 PLESK 上で、メールボックスが有効になっているかどうかをご確認ください。また、受信メールサーバ上にメールヘッダが不正、もしくは破損しているメールが存在し、メールを受信することができない可能性があります。受信メールサーバ上(POP サーバ上のメール BOX)にある任意のメールを imap 対応のメールソフト(outlook 等)で imap アカウント設定を実施して頂き、該当メールをメールサーバ上から削除してください。

※削除したメールについては復活させることができませんので、十分にご注意願います。

【Q4】 特定のメールアドレスもしくはドメインからのメールを届かないように設定したい。

【A4】 本マニュアルの P41～に記載されているスパムフィルターのブラックリスト機能を利用することで実現可能です。詳細につきましては、当該ページをご参照ください。

【Q5】 転送元にメールを残さず、転送先で受信をしたい。

【A5】 転送設定を適用した状態で、管理画面で転送元の「メールボックス」のチェックを外し、メールボックス機能 (POP 機能) を停止して下さい。なお、転送元にメールを残したい (POP したい) 場合はチェックを外さないで下さい。

neotest@neojapan-plek12.co.jp [1つ上のレベルへ](#)

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

このメールアカウントに補助ユーザが関連付けられている場合 (コントロールパネルへのアクセスが有効)、このページでの変更は、この補助ユーザの設定にも適用されます。特に、メールアドレスとパスワードを変更すると、補助ユーザのログイン名とパスワードが新しく1回に変わります。

メールアドレス * @neojapan-plek12.co.jp

コントロールパネルへのアクセス (ユーザ名: neotest@neojapan-plek12.co.jp)

パスワード **最弱** (?)

このパスワードは、メールボックスへのアクセスと、Plesk へのログインに使用されます (アドレスが補助ユーザに関連付けられている場合)。

パスワード確認

メールボックス

デフォルトサイズ (無制限)

別のサイズ KB

サイズをデフォルトサイズより大きくすることできません。

Plesk での説明

説明は、このメールアカウントへのアクセス権を持つすべての人に表示されます。

* 必須フィールド

【Q6】 メールの送信 (送信時の認証) に 30 秒程度かかる

【A6】 「スパムメール」防止のために、幾つかの ISP 事業者では、ISP が提供しない第三者のメールサービス (レンタルサーバ等) へのメール送信行為をチェックしています (送信時認証が行われているかどうかなど)。そのため ISP 側でのチェックに 30 秒ほどかかる場合が報告されています。正しく送信される場合には、障害ではありません。

第3節 ウェブについて

【Q1】 HPはどこにアップロードすれば良いですか？

【A1】 httpdocs というフォルダにアップロードしてください。トップページには index.html という名前をつけてください。あらかじめ同じ名前のファイルがアップロードされていますが、システムが生成するデフォルトページですので、上書きしてしまってもかまいません。

【Q2】 HPをアップロードしたがファイルが正常に表示されない。

【A2】 アップロードされているフォルダ名とファイル名をご確認ください。フォルダ名とファイル名が半角の英数文字で入力されていない場合、正しく表示されない可能性があります。半角の英数文字で入力されている場合で正しく表示されていない場合は、リンク元のHTMLファイルのソースで、リンクの設定が正しく記載されているかどうかをご確認ください。